

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-36)、
廃棄物管理施設(12)、MOX燃料加工施設(2-6))」

2. 日時：令和5年3月8日(水) 10時00分～11時30分
14時00分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審
査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨
安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他11名

四国電力株式会社 原子力部 サイクル技術グループ 副リーダー

北陸電力株式会社 原子力部 原子燃料技術チーム 副課長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「設工認申請におけるSA関連情報の相関整理」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年
12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可
申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年2月28日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年3月3日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始します。
0:00:05	本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請のあったものと、令和5年2月28日に申請のあった、設計及び工事の計画の申請についてヒアリングを行うものになります。
0:00:17	まず規制庁側の出席者ですが、カミデタジリタカナシ a シミズセトガワになります。
0:00:25	ウェブ E X の出席者ですが、補足。
0:00:29	オオオカタケダオオハシフジワラキシノになります。
0:00:35	それでは日本原燃から出席者の紹介と、議題の構成の確認、説明範囲達成目標等を説明してください。よろしくお願いします。
0:00:45	あれ。
0:00:50	前年側の出席者紹介いたします。
0:00:54	まず事務局より、再処理から、サトウタカハシセガワフジノナカハマ。
0:01:02	ボックスから上口イシハラ。
0:01:05	あと耐震関係でトガシ、ミヤモト共通準備関係で、シミズ、
0:01:14	S A 関係で、ホリグチ、
0:01:17	院長となります。
0:01:19	本日はですね、昨日、ご提示させていただきまして、まずスケジュールの方から編集してない、してなかったです。
0:01:28	スペース、スケジュールですね、資金スケジュールについてご確認いただきたいと思います。
0:01:35	梅野藤です。スケジュール関係ですが今はですね、会合に向けた資料提出のスケジュール、それから溢水躍進関係のスケジュール、あと昨日、地盤ヒアリングやっていますので、
0:01:49	そこら辺のヒアリングと資料提出日の日程ですね、それを入れた資料を今準備しております、数の朝のヒアリングお昼からになるんですが、その場で提示したいと考えてます。
0:02:02	あとスケジュールとあわせてですね、目標の方でどうやってこう進めていくかという、世古新野

0:02:07	説明として進めていくかという資料も準備してますので、そちらもあわせて提出して、明日ご説明させていただければなと、いうふうに考えておりました。
0:02:17	あとですね、昨日、耐震関係の資料を提出してるんですが、その中でちょっと、
0:02:23	意味があったということなのでちょっとご説明させていただきます。日本原燃の宮本です。耐震建物 01 機能の油井用地に提示さしてもらったんですけど、
0:02:32	一部ちょっと合本作業ですね、同じような表がですね、22 枚ちょっとお付けしてたんで、
0:02:42	もう一度ですね、ちょっと我々のちょっとチェック体制の甘さっていうのもあるんですけど、もう一度ですね、再提出の方をですね、今日の午前中中にさしていただければと思っております。以上です。
0:02:59	補足ですけど、ごめんなさい、再提出する必要があります今の話だと別に、
0:03:05	見なきゃいい、そのページ見なきゃいいだけの様な気がするんですけど、日本原燃の宮です。そう言っていただければ
0:03:14	ページの振り直しとかもちょっとあったりするんで、もう一度最低さしていただきたいなとは思ったんですけど今古作調査官が言われたように、そのページ見なきゃいいっていう話だけで済ませるんであれば、
0:03:26	その場のヒアリングで、布施、ご説明さしていただければと思います。
0:03:33	土岐さんですけど、いや、今どのページかっていうのを言ってくればいだけだと思う。
0:03:38	赤嶺さんどうぞ。
0:03:39	はい。規制庁甲斐です。私も昨日も見てて同じような表が微妙に違うだけ何か同じような表があって、何ページだったか、具体あれですけど
0:03:49	最初のページが清なのか後ろのページがせいなのか、ページ番号今言ってもらえればいいですけど、
0:04:00	稲毛二宮です。44 ページ目がいらぬ。
0:04:04	治療ください。
0:04:07	と規制庁紙です。44 が要らなくて、
0:04:10	45 が必要、43 が必要とどうということ。
0:04:15	43 が必要です。

0:04:17	はい、規制庁から 43 ページを見てください 44 ページを見なくていいですということですね。
0:04:24	はい。おっしゃる通りでございます。すいませんでした。
0:04:28	はい、規制庁からそれで、
0:04:30	合本作業のチェック、
0:04:34	ということだったらまあって感じはしますけど、感じもしないんですけど、いろいろ不備がある中で、しっかりしたものを、補足説明も出しますと言っている中なんでこんなことんなっちゃったんですか。
0:04:56	日本原燃の佐藤です。今回の申請書の不備に関して本日資料をお出ししますけれどもその中でも対策の一つとして当然当初、合本後に、また最終確認するといったところを入れてます。
0:05:10	これも言い訳でしかないんですが、今まさにその検討中のところで各関係課には、検討状況ということで情報は知らせてますけれども、これ確定でこれで一斉にやるという正式な指示がまだ我々の方から出せてなかったという、
0:05:25	過渡期ということもありましてこんなことになってしまいました。ただそういう対策に限らずですね、こういうことをやるというのはもう当たり前前の話でありますのですみませんしっかりと徹底して、以降こういうことがないように、はい対応いたします。
0:05:38	規制庁神谷です。言われたように、
0:05:41	指示をされてないからやらないっていうようなレベルの話ではなくて、当たり前のことじゃないですか。
0:05:50	今回ありますか。いや、やらないまま提出したんですかそれをやったつもりなんだけど甘かったのかって、どんな感じなんですか。
0:06:08	はい。日本原燃の藤尾です。実態としてはチェックはかけていて、その中で、漏れてしまったというふうに認識しています。
0:06:19	それちょっと全体の構成等も踏まえながら確認するという意識が少し不足していたと思いますので、以後気をつけたいと思います。
0:06:28	規制庁深見です。ちなみに、別に個人攻撃するつもりは全くないんですけど、
0:06:34	この資料を、そのチェックした人っていうのはどうなったんですか。

0:06:50	はい。日本円トガシでございます。資料に関しましては建物綺麗ん、屋外といった形になってございまして、各々の各責任者といったところが確認の方を実施しているといったところでございます。
0:07:03	ただこの上でのご指摘のところでは少し横断しているところがあって、少しその部分での全体的な見方といったところはこれまでもご指摘されているところでございますけれどもその部分といったところで、
0:07:14	最終的な確認といったところが抜け落ちてしまったといったところがある。すいません。富樫さん。
0:07:21	具体的にどのレベルのものが責任者と言っているのかわからないのもうちちょっとクリアに言って欲しいんですけど。
0:07:29	プラス、今言われたところで言うと、全体は誰が見てるんですかっていうのは村山さんが阿比留。
0:07:37	或いはイシハラサマビルだったかっていうような話もされたと思うんですけど。
0:07:42	その等そこの関係も今、
0:07:45	ページ数言われたのがどういう内容なのかかわからないのでよくわからないんですが、もうちょっとちゃんと話ししていただけません。
0:07:56	はい。日本インター大橋でございます。こちらの方の資料に関しましては建物、機器、屋外構築物がございましてその部分の責任者っていったところで、建物の関係ですと、
0:08:10	私とその部分の内容の方確認しておりました。気がの方に関しましては星野の方が内容の方を確認しておりました。先ほどお話ありました労働部分に関しましてはミヤモトの方が確認しております。
0:08:22	そちらの方の最終的に各横並びの調整といったところが取れているのかといったところに関しまして、イシハラ、及び、
0:08:31	村山の方で内容の方確認していただいたといったところで資料の方は提示させていただいております。ただその部分の各、最終的に合本するといった行為のところですね
0:08:43	本来であれば、各パート責任者、先ほど申し上げた私であったり星野であったり、
0:08:50	といったところで最終的に少しその部分をですね、確認すべきだったところをですね少しその部分が最終的な部分の確認ってところが落ちていたといったところが原因として、

0:09:01	あったのかなというふうに思っています。
0:09:10	コサクですけど、
0:09:12	ちょっとよくわからなかったのは、今言われた関係、責任者それぞれが、
0:09:21	その責任の範囲において内容を確認を進めていたと。昨日の朝の話でも、先週からイシハラさん見ている、
0:09:32	というようなことを言われてたので、
0:09:37	見て話しているのだろうと、いうことは想像できますけど、
0:09:41	今言われたのは合本作業でといったところで、内容としてクリアを出したものの、最終的に出す資料として、
0:09:51	P D F の作成をしていくと。
0:09:54	いう中でチェックが甘かったと、いうことを言われてるんですか。
0:10:00	はい。日本原燃の土橋でございますおっしゃる通りのところで
0:10:06	いろいろコメントを受けていく中で修正を加えていっている作業のところがございまして最終的に
0:10:13	奥田さんのおっしゃる通り合本という作業のところで本来つけなくてもいいところをですね、出版の資料のところ少し入り込んでしまっていたといったところが原因だというふうに思っています。
0:10:29	古作です。
0:10:30	神谷さんにちょっと確認したいんですけど
0:10:33	それぞれの費用で内容が違って、
0:10:39	コミュニティです。
0:10:40	あれでしたっけ、道道のあの一覧表みたいな感じでしたっけ、星取表みたいなところが2枚ついてたんです。
0:10:49	N - S その通りでございまして旧式のやつは新式のやつがはい。二重で入り込んでしまって、それで44ページの旧式のやつをちょっともう、
0:11:00	これは古いバージョンなんで、見ていただければ結構ですという話をさせていただきました。政調会です。なんで、ほとんど同じような表なんですけど、何か一部ちょっと違うなぐらいの感じですね。
0:11:16	はい、迫ですわかりました。で、今の話でいうと合本作業とは言っている、作業自体は学校の作業なのかもしれませんが、P D F 作成作業において、

0:11:28	元作成していたPDFに新しいのに入れ替えるという、
0:11:35	2基のものを消し忘れたってそういうことですか。
0:11:41	日本原燃の宮田です。そのように、まとめめた方からは聞いております。
0:11:49	はい。そうですわかりました。そうすると、今の話だと元ネタはミヤモトさんのところということですけど、内容としてのリリースとしては自分の範囲のページについて、
0:12:01	確認してリリースしたと、ということですかね。
0:12:05	営業部の三浦ミヤモトですその通りでございます。内容については感じたんですけど、以前場じゃなくてちょっと入り込んでたっていうのが、ちょっと私、我々のチェックが甘かったところだと感じております。
0:12:20	はい、古作です状況わかりました。で、最終的にその合本として間違いがないかっていうチェックプロセスってどうなってるんでしたっけ。
0:12:46	はい、日本イヌワシでございますこれも多分最終的に確認は、各課長がしっかり確認すべきだったというふうに、その部分がやはり
0:12:58	少し今回、最終のものとしてちゃんと抜けがないのかといったところの確認っていうのが不足していたといったところが多分、もう要因だというふうに思っております。
0:13:09	人間事象でございます。
0:13:12	言い訳をするつもりはなくてですね単純にもともとあったリスクを我々が放置した結果かなと思ってます。
0:13:20	今回資料をやりとりするにもですね私は全体見てコメントしますが、コメントを聞きに来る人は、3者3様。
0:13:29	コメントを返す時もメールを、それぞれが送ってきて私はその合体したバージョンのイメージを持ちながらコメントを確認しなきゃいけないっていう、その
0:13:39	非常に面倒くさいことをやってるとき、最初からそういうのをやめてちゃんと全体取りまとめて誰かが音頭を取ってやれよっていうのをやればよかったような気がしますそれが結局最後まで引きずってこの結果に繋がったのではないかと。
0:13:53	思っておりますのでちょっとやり方を見直すということが否定的必要だと思ってました。以上です。

0:14:03	はい、古作です。わかりました。ちなみに合本作業してるのはどなたなんですか。
0:14:17	はい。山名土橋でございます今回は記念の担当者の方が最終的な学校の作業の方を担当していただいたという形になってございます。
0:14:28	古作です。今言われた感じからすると、
0:14:32	その都度、
0:14:33	誰かがやってるっていう感じであまり
0:14:38	整理ができてないってことだ。
0:14:43	はい。日本でどうでございますおっしゃられる通りだと思ってます少しその部分で
0:14:50	各%通のところで集約するって言った時にはその時々ですねちょっとウェイトが高い方が中心となってまとめていただいているというような今作業形態をとっていたというところの弊害が出たものだというふうに思っております。
0:15:07	はい。補足です。状況はよくわかりました。石原さんの言われたような対応、
0:15:12	いただいて、ちゃんと管理をしていく。
0:15:16	ということ。
0:15:18	小峰さん、何か追加でありますか。
0:15:21	カミデです。特に
0:15:29	その他、規制庁側から何か質問ありますか。はい。
0:15:36	規制庁上出ですけど、最初に言われたスケジュールの話ですけど、明日のその日朝ヒアリングとか方法ですけどそのヒアリングの時に提示するって言われましたけど、
0:15:48	それがぎりぎりだっということなんですか、作業プロセス的に
0:15:55	日本原燃の布施です。明日の午前中、11時ぐらい目途でちょっと提出させていただきたいなと思ってました。
0:16:03	はい。
0:16:03	規制庁開発部わかりました。今ん何に時間かかっているんですか。
0:16:09	ちょっとですね溢水関係とかのところのスケジューリングですね、
0:16:15	素行の集約とかそこに時間かけてるような状況です。
0:16:21	消しちゃったんです。石井の話寺崎今野は全体の設計の話したんですかね。

0:16:27	そうです資金の対応スケジュール今まとめていて会合だったり水だったり地盤だったりっていうものの、今スケジュール取りまとめてましていつもの1枚ものの形で集約して浅尾出ししたいと思ってました。はい、藤井です。江藤です。
0:16:41	今、ネックになってるの溢水でそれ以外はもうスケジュールは口頭なら郵送な状況とおっしゃるいいんですかね。
0:16:49	そうですね。大体ます。水は今ちょっと手元にはないんですけども、
0:16:55	規制庁タジリつってあれば言えいいんじゃないかっていう流れだと思っただんですけどそうでもないですか。
0:17:01	倍会合資料関係はですねちょっと今、地盤とか耐震化できてるんです。これからまず行きましょうか。
0:17:12	日本原燃の藤尾です。はい。
0:17:14	次、地震地盤関係はですね来週の木曜日ぐらい目途です、介護資料案とあと耐震建物08を提示したいと考えていました。
0:17:26	会合資料については、ちょっと時間ないんですけど翌日にヒアリングしていただいて、共通、耐震建物08の方は、少し
0:17:37	読む時間も必要だろうということで今20日ぐらいにヒアリングをセットしたいという希望を持っていたところです。
0:17:44	頻繁関係は今のスケジュールとしてはそういうものを考えています。あとヒアリングで受けたコメントなんかを反映して提出していくというようなスケジュールを押し、22日ぐらいにもう1回2回目の
0:17:57	会合のヒアリングできたいなというふうな希望を持っていたところでした。以上です。
0:18:04	規制庁コアベース。16人、介護資料と、地盤の検討状況、資料出てきて、介護は
0:18:14	そんなに枚数がないので、翌日、
0:18:18	20日のタイミングでは、
0:18:21	08の資料とあとは17のヒアリングを踏まえた会合資料が、
0:18:27	20出てきて、両方20人やるイメージですか。
0:18:34	日本原燃の藤井です。はい。今そのように、一番地盤とか耐震チームと調整してました。
0:18:39	はい。規制庁亀井です。とりあえずはわかりました。

0:18:44	あとはですね、介護しようとして交通全体をまとめたものがどうなるかっていうイメージは掴めないんですけどまず地震としてっていう。
0:18:53	話はとりあえず、わかりました。はい、進めてください。
0:18:57	はい。それでは最後資料あともう一つ、日本原燃藤すいません。会合資料ですが共通 12 から流れてくる類型分類だったり、設備構造だったりっていう会合資料もございますので、
0:19:08	そちらはですね来週の火曜日あたりに提出して、15 日のヒアリングの時に、他の共通中のヒアリングとあわせて実施できればいいかなという。
0:19:18	ことを考えて今スケジュールリングしてます。同様にですね
0:19:22	こちら、15 にヒアリングあるんですが15 日のヒアリングの状況を見て、17 に出すのかそれとも 20 日地盤なんかと一緒にまとめて出すのかというところは少しコメントの状況なんかを見ながら、
0:19:35	考えたいなというふうに思っています。
0:19:39	と共通に関係は以上です。はい。
0:19:44	その他規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:19:50	規制庁とですね、共通中にはとりあえず資料を直せそうですかスケジュール、今の感じだと何か直されそうな雰囲気をしたんですけど、
0:19:59	はい。日本原燃清水です。はい。明日お出しする資料は昨日いただいた内容。
0:20:06	を取り込んだもので、
0:20:08	出すように対応今しております。
0:20:12	規制庁と人数、一応それを図った上でコメントをもらって他にも展開っていうことを何を想定されてるんだと思うんですけど、それ全部終わってから他っていうふうにやると結局全体がそろわないっていうふうになりかねないと思ってるので、
0:20:25	同時並行で検討進められるところ進めといていただいて、要は、指摘受けて差分で修正しなきゃいけないところだって全部修正とかっていうぐらいでないと時間がなくなったりもすると思うので、そのあたりのスケジュール管理ともう年内でしっかりやっていただければと思います。自分からは以上です。
0:20:43	はい。日本原燃志水です。了解いたしました。
0:20:46	それではその他規制庁側から、すみません、古作ですけど。

0:20:51	今の話でいうと、先日出されたスケジュールと14日に、その介護用資料のバージョンだけじゃなくて他も全体、
0:21:03	示していきますと。
0:21:05	外部衝撃についてですねっていうことでしたけど、今のお話では、9日の資料提示、
0:21:15	のレベル感では他の作業は進めていて、
0:21:19	10日での代表でのように、ヒアリングを踏まえたものも展開をして14日に出せるということでもいいですかね。
0:21:31	はい。日本原燃清水です。外部衝撃の他の部分についても、展開はしている状況でございます。
0:21:38	はい。その作業状況も踏まえてですね、どこまで出せるかちょっとまたご説明させていただきたいと思いますが作業の方は並行してやっているという状況でございます。
0:21:50	はい、古作です。わかりました。10日にヒアリングがあると思いますので、そこで出てきた資料だけじゃなくてですね、介護資料の作業状況とか、他の設備の作業状況とかも含めてお話していただければなと思います。よろしくお願いします。
0:22:11	はい。日本原燃清水です了解いたしました。
0:22:19	何か規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:22:26	なければ、とりあえずスケジュールの方で、原燃側から振り返り通していただいてそのあと、ファックスの08資料に入ろうと思いたいががでしょうか。
0:22:40	はい。日本原燃の藤ですスケジュール関係ですが今説明した内容で総合はそれほど規制庁さんとはなかったと思うので
0:22:50	基盤関係それから類型分類、そこら辺資料反映したものを、明日、提示、提出したいと思ってます溢水関係がちょっと遅れてますので、合流させる形で、
0:23:00	別途明日説明させていただければなと思っていました。
0:23:04	あとちょっと1個抜けちゃってるのが申請書の不備の話もありますので、そちら側の今日資料提出して、10日またヒアリングありますので、その状況を踏まえながら、会合資料についても準備進めていきたいと思っています。
0:23:16	説明以上になります。

0:23:18	規制庁の田尻ですけど、溢水っていうのは、何がこれ点でしたっけ。
0:23:24	スケジュール組むのが遅れてるっていうのは、何か今まで聞いてたやつよりもさらに何か遅れそうなんでしたっけ。
0:23:31	日本原燃の藤です。そういうわけではなくてちょっとなんです対応者の対応状況というんですかね。在宅してたりとかしてちょっと情報の集約っていうのは今スムーズにできないので、そこを今、
0:23:44	なんすかね。対応してるっていう感じです。
0:23:47	長集めてる感じです。すみませんちょっとなんか歯切れ悪くて、
0:23:51	はい。はい、規制庁だったらいいです。在宅を全然否定もしないんですけど、情報の集約できない在宅は皆そうな気もするのでちゃんと体制組んでいただければとしか言えないんですけど。
0:24:03	例えば、何か遅れてるっていうには、ただ、
0:24:06	整理できてないだけと思っとけばいいですかまず。
0:24:12	はい。すみません。こっちの事情で、遅れてるだけですので、何か問題が起こってるというわけではございません。すみません、ちょっと中身に応じてるかどうかわかんないけど明日の時点で話が来そうと思っております。はい、議事部から以上です。
0:24:26	麻生すみませんコサクです。
0:24:28	溢水に関係するのかもしれないんですけど、S A、
0:24:33	の説明がなかったですが、今日ヒアリングがあって、それに応じて、
0:24:40	軌道修正なんかもあり得る状態だと思うんですけど、
0:24:47	と現状では、本スケジュールのつもりっていうことですかね。
0:24:54	栗栖です。ヒーロー想定しましたHTMLた売り上げしました。
0:25:04	今日の午後に、昨日経営のところ、今日の午前中というところをおっしゃっていただきます。これは新保五味、宇津と、
0:25:16	あと、一つの学生方には、こういった形のイメージしか
0:25:26	合ってるかってところ、スキーマーメント及び、
0:25:31	と言いました。それを基にして資料を作って中に提出しまして、それで、そういった形でイメージと合わせまして、大分前言いました。
0:25:44	そこで今日のヒアリングの中、ヒアリング井上資料 21 番、35 ページと 11 名の町 8 番、22 番の説明と、
0:25:59	コメントというか教えていただきたいっていうことを考えております。以上です。

0:26:07	補足です。それであれば、最初に言って欲しかったなっていうところはありますけど、
0:26:17	とりあえず午後ヒアリングをしてっていうことでしかないとは思いますが、
0:26:23	いっすいをどう進められるのか、それに応じてそのDB。
0:26:31	側でどう受けてどう進めるのかということもあるような気はするので、
0:26:37	午後のヒアリングでそのあたりの話をしてスケジュールに落とし込んでいただくという必要があろうかと思います。
0:26:46	そういう状況で言うとフジノさんさっき歯切れが悪かったですけど、
0:26:51	どんな感じでまとめて幾つですか。
0:26:56	日本語の藤尾です
0:26:58	そうですね今笠田さんおっしゃったようにちょっと今日の午後のヒアリングで、スケジュール感もある程度見えるかなと思いますSAもいす医薬品も交流させて、明日お示しできるように、準備進めたいと思います。
0:27:12	はい。コサクです。よろしくお願いします。
0:27:18	その他、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:27:26	それではこれ、坂井の分のスケジュール等は終わりということで、続いて目標の0資料の方に入っていただければなと思います。
0:27:43	はい。日本原燃石原でございます。
0:27:46	それでは、2月28日ですかね、に提出をしました共通08-2ということでちょっと番号のつけ方すいません
0:27:57	最終と並行してやっていたので、中途半端な番号ですけど最終的には整理し、
0:28:02	第2回申請申請書構成ということでも、燃料加工施設と書いたものでございます。
0:28:08	目次がですね右下2ページにございまして、今日何を説明するかということなんですが、
0:28:15	この資料大きく分けて二つのパートがございまして、
0:28:20	いわゆる申請書の構成であったり、
0:28:25	申請書の中の仕様表であったり主要設備リスト後、

0:28:31	設定値根拠とかですねそういったそれぞれのパーツの記載の仕方みたいなものを第1回の申請の最後の方にいろいろとやらしていただいたもの。
0:28:40	のパートと、目次でいう5ポツ、第2回新設工認申請の説明内容についてと、書いてある場と大きく二つのパートになってます。
0:28:51	本日の説明はその後交通の部分はいわゆる第2回の申請の説明内容についてというところを中心に説明をさせていただきますんで他はどうするんだということですが設定根拠とかですねいろんなものは、
0:29:04	00資料に関係するものを添付してたりしますので、その中であわせて今後説明をさせていただければなと思っておりました。
0:29:12	はい。
0:29:13	東郷交通に行く前にですね本文の中で昨日ですかね、ご指摘いただいた右下6ページのところは、
0:29:25	第8条のところで、第9条か、あの場合なんていうのをバツに直して今後見直しをして修正をさせていただきますっていうのを、
0:29:33	先に言わさしていただいた上で、5ポツが17ページからですかね。
0:29:39	ございます。
0:29:41	この第2回申請の説明内容ということで
0:29:47	こういったものが対象になるかということ、いわゆる申請する申請対象設備ってのがどんなものがあるかというとの配置も含めた全体の考え方との関係と、
0:29:58	いうのを示したものというのが、添付8。
0:30:02	あとそれぞれの申請対象設備っていうのはどんなものかというのをイメージしていただくようなものが、添付9。
0:30:11	あとは、最初に今やっている設備の分類といったものが5.2の中に説明がありますが、こちらは今すでに修正版の作成に入ってますので、
0:30:24	α とか β とか書いてあるものはBということで修理、精製をした上で出させていただきますが、
0:30:29	全体としてこういったものが、申請対象設備に愛あるのかという条文ごとの分類というのをさせていただこうということで、整理をさせていただきました。

0:30:40	昨日もお話あった通り、Bとした時に再処理とMOXで、大きく違うのは、誤記のように、新規に設置すると書いてますものがまだありませんので、
0:30:53	1項申請に該当するもの等に変更にちょっと移行し、2項変更に分かれるということでございます。それぞれに対して、こういったものを申請対象とするかということに対して、
0:31:07	このが必要だと思っております。
0:31:10	また右下10、20ページですかね、5.3ということで、第2回の申請の設計変更内容ということで、いわゆる、先ほどあったデータというのがありますがBに該当するものが2項変更ですので当然、過去に認可をいただいているものになります。
0:31:28	そういったものに対して、今回のS sの変更等がありましたので、そういったものを踏まえた上で、変更設備の変更であったり評価の仕方の変更であったりと、
0:31:39	いったものをしているものがあります。そういったものを添付11ということで整理をしているということでございます。
0:31:46	おいて、
0:31:48	細かい内容につきましては、それぞれ添付2、記載をしております。
0:31:54	添付8以降が対象になるんですがその前にですねすみませんぴったりいただいて、右下28ページ以降に、
0:32:03	遠方-1というのがございますこれ申請対象設備等、以前ヒアリングの中でもお話をさせていただきました第一課で、
0:32:13	もうこの申請対象設備リストをつけていて、今回第2回でもお付けをしております。このまさしく画面でも共有されてます申請対象ピット緑、水色のハッチングをしている部分。
0:32:26	これが第1回から、一部変更した場所がありますのでそういったものをリストの中で明示をさせていただきました。28ページ以降の表の中で水色で、
0:32:37	先ほどいただいた上で、113ページ以降に、その変更点をここに変更した理由というの、評価表にしてつけさせていただいているというの、
0:32:51	今、協議ということでございます。

0:32:55	そういったことで記載の適正化も含め、修正をさせていただいているということでございます。
0:33:02	すいませんあっち行ったりで、200 ページからが添付 8 でございます。
0:33:08	はい。添付 8 については、MOX と左に改正する内容というのを、グループで書かせていただいております。
0:33:18	大枠の設備としては、
0:33:22	203 ページ、違います 202 ページは大きくもう、原料粉末を受けてから、燃料集合体を出荷する前の流れでそれぞれの工程を、
0:33:34	どこの地下階に設置しているかというのがこの流れになります。
0:33:39	今回それぞれのどこを申請するかというのがこの具体的な階層との関係を示したのが 206 ページでございます。
0:33:48	206 ページで
0:33:53	ほとんどの部分がピンクに塗られつつ、メインの地下 3 階が広いのが目立ってますけども、このピンクに書いてあるものが第 2 回の申請対象でございます。
0:34:05	白いのが、第 3 回にエントリーをしようとしているものになります。
0:34:10	はい。
0:34:14	第 3 回にエントリーすると言って抜けての何かといいますと熊 II を受け入れて混合して、ペレットを作って焼結して、
0:34:24	検査をするといった地下 3 階のメインのフローが、
0:34:29	眞部、第 3 回で理由共通。
0:34:34	-05 とかにも書きましたが、
0:34:40	従来事項対象設備の設計の進捗も踏まえた上で若干ながら後送りにしているというところがございます。
0:34:48	あとは、地下の部分で、今大きく、ペレット 1 自己保管設備粉末一時仮保管設備であったり、原料を複数待つ間の一時保管設備であったりと。
0:35:00	いう大きなピンクへの枠を囲っています。
0:35:05	こういったものが次の 200、
0:35:09	7 ページですかねちょっと赤枠で配置の具体的なものがスピンがありますので、大きくはあれ、あれですけども、いわゆる地下 3 階については、グローブボックスがいくつかありますこの俺になってるところ骨格、背骨になってるようなところを、

0:35:25	今回出させていただく、これは大型機器で、地下三階の天井部分を埋める前には、入れておきたいという部分も大きな形ということでございます。
0:35:37	208 ページが地下 2 階ですけど地下 2 階も比較的大きなもののグローブボックスがおります整合になる部分もありますし、いくつか
0:35:47	集合体になるまでのいろんな過程でグローボックスどんどんどんどん地下 3 階を大型化していく部分もありますので、地下 2 階の部分も、比較的大きなグローブボックスを
0:35:59	今回の申請対象として挙げていると、いうこと。
0:36:03	また特徴的なもう一つが 200、209 ページですね、地下 1 階のところが、排風機であったりここからダクトが地下三階までとか地下議会伸びていきますけどもこういった
0:36:15	改装跨ぐものを、今回の申請対象として挙げさせていただきました。
0:36:21	具体的な等がありますけど具体的な対象としては 210 ページに書いてあるようなものでございます。
0:36:28	1 項申請と日報変更を 2 項申請とで分けていて、210 ページの左側に書いてある通り、従前認可実績がない設備と、すでに新規制基準施行前に認可の実績ある設備、
0:36:42	ということで一步一步分けさせていただいているという
0:36:45	でございます。
0:36:47	はい。
0:36:50	続きまして 211 ページがこれ何を書いているかは今回対象となる、先ほど来、修正しますといったようなマル。
0:37:00	規格をつけさせていただいた丸になる部分の条文ですね。
0:37:04	これに対して、第 1 回を踏まえた状態で申請としてはどんなことを申請したのかということ、条文ごとに整理をさせていただいておるところでございます。
0:37:17	例えば、委員会は今回初出しですが、申請概要のところを書いてあります基本設計方針、処理後臨界評価なんかを今回申請しますけども、
0:37:29	特に基本設計方針みたいな、設計方針については、既認可から変更はないといったもののステータスといったものも明確にして、今後し説明をさせていただければと。
0:37:39	思っております。

0:37:41	あと、耐震関係は基本設計方針が第1回認可をいただいて、添付書類の一部が、今後鳥飼なんて赤津Sクラスの機器等の評価を申請させていただいているということでございます。
0:37:56	はい。昨日の朝のミーティングでもお話があった、第8条につきましては基本、基本設計方針は第1回で、すべてのものを、
0:38:08	申請の中に入れさせていただいて認可をいただいているので、今回MOXとしてあるのは、添付書類の中でのいわゆる設計方針を詳細な具体的な設計方針を説明する。
0:38:20	一部の設備がエントリーをされます。具体的には、PLRの外気の取入関係の設備が対象となって出てくるということで、
0:38:32	左側3番目のところに対象となる設備を記載をさせていただいてございます。
0:38:38	それぞれの事象、の中でどういう取り扱いをしているかが一番右でございますその他外部火災火山と竜巻でそれぞれどういったものを今回つけさせていただいているかというのを書いてございます。
0:38:50	はい。
0:38:52	こういったことで、すべて条文ごとに見解をしてるんですが、今回MOXとしてメインが何かということになると、やはり耐震みたなし、
0:39:03	評価の計算書がいっぱいついてても、確かにメインにはなり得るかなと思うんですが目測てみれば第10条閉じ込めでの、
0:39:13	いわゆるグローボックス関係が出てきますので、そういったところをしっかりと閉じ込め機能の設計方針なんかを説明させていただくということが一つのメインのところかなと思ってます。ただ基本設計方針は書いてある通り第1回で認可をいただいておりますので、
0:39:28	全部処理側でいわゆるグローボックスのを、具体的な設計方針を示していくということでございます。
0:39:35	はい。
0:39:36	阿藤。特徴的なものとしては第16条とか搬送ですとかあとちょうど、
0:39:47	関係は再処理ではすでに認可をいただいたものから変更ありませんよということで、設計方針も答弁英語はないということですけども、
0:39:57	MOXの場合は個別の設備が今回エントリーされますので、ここに説明をしていく設計のところが登場すると、ただしこちら、基本設計方針は既認可から変更が特にあるわけではございませんので、

0:40:10	前後でいくと変更前に、Nすべて書かれるような対象の増分になります。
0:40:16	ということでございます。
0:40:19	はい。
0:40:20	あとは、20条の廃棄施設が214ページにございますアクサ閉館と、
0:40:28	先ほどの閉じ込めがメインだと申しましたが、いわゆるMOXの関係でいきますと、次で説明をしないといけないと思っているのが閉じ込めのいわゆるグローブボックスが出てきますこれがいわゆる、
0:40:42	宇和ページも含めた全体の骨格になる対象物でございまして、
0:40:47	それと紐づく形で第20条の廃棄施設でいわゆる風量の設定の話をしていないといけない。あとは換気設備もそれに付随する23条としてエントリ-が必要だというふうに思っています。
0:41:01	一応この風量関係で関係してくるのが、戻って恐縮ですけど213ページの第17条の貯蔵施設、
0:41:09	これがですね北海道の関係で風量等の関係の説明が必要になりますので、これらをバラバラと言え、連携して説明をしていく必要があるのかなと。
0:41:21	いうふうに思っています。そういったことをイメージができるような、MOXの申請の説明の進め方というのを、本日出させていただこうかなと思ってたところでございます。
0:41:33	はい。
0:41:34	あとは、215ページにあります30条32条33条重大事故関係でございます。
0:41:43	重大事故案件は基本的方針アキホダイ1回で、以下済みでございます添付書類がいろいろと具体の設備が登場しますということでございますこれも
0:41:54	30以上と33ということでございます。先ほどあった、他の条文ですね個別設備の重大事故側が個別の説明書に書かれる部分がありますのでそういった連携については、
0:42:07	まさしく今再処理でやらせていただいている内容と、並行しながら再処理で決めたことが目視でもついてできるようにと。
0:42:16	ということで整理をさせていただけるのかなと思っておりました。

0:42:20	ただ第 32 条のですね委員会事項のところ、いわゆる対象がないもの っていうのをどういうふうに、基本設計方針添付書類補足説明資料含め て、説明をさしていただくかっていうところについては、
0:42:33	逆に言うと、今ボックスが成功して、示し方みたいのを造成させていた だくということもできるんじゃないかなと思ってたところでございまし た。
0:42:42	はい全体の条文等の今後の説明だったり、説明の対象の具体的話につい ては添付 8、以上でございます。
0:42:51	はい。続きまして 216 ページからが、2、216 ページです。はい。別府 9 でございますこれは先ほどあった、各設備がどんなものかと。
0:43:03	いうのを、大枠のイメージをお示しをしたいということで、パワーポイン トで肯定的で恐縮でございますが
0:43:13	テンキーの大枠の構造等、アトワスどこからどこに流れていくっていう 流れですねっていうのがわかるような絵をつけさせていただいてます。
0:43:22	216 ページからが、被覆施設でございます。
0:43:27	217 ページのスタッフ編成設備から順番に、設備を記載をさせていただ いてます。
0:43:35	216 ページに戻って恐縮です頭のところに書いてありますが、設備名称 のところにですね
0:43:42	※1、一行※2 行って会社では、一方と 2 項の対象がわかるように、それ ぞれ付番をつけさせていただいてます。
0:43:51	ただし 217 ページのように、トータルで日本の場合は、スタッフ編成設 備というところの頭に、2 項変更ということで※を打ってましてこれ、
0:44:03	赤茶色で塗っている設備はすべて 2 項変更の対象ですということになり ます。
0:44:10	はい。そういった形で記載をさせていただいてまして、
0:44:16	1 項と 2 項が混同する、例えば右下 201 歳とか、右下になってですね 222 ページ。
0:44:26	燃料棒検査設備は頭に一行、※1※2 項と書いてあってそれぞれの設備の 赤茶色の枠のところですね、効果に効果がわかるように、それぞれ記 載をさせていただいて、あとは、
0:44:41	を、
0:44:42	この設備がどんなことをするのがそれぞれ概要で、

0:44:47	文章で書かさせていただいているということでございます。これがずっと続いています。
0:44:53	あとは、先ほどあった
0:44:56	比較的大きなグローブボックスと言った貯蔵施設が 238 ページからですね。
0:45:02	続いております。
0:45:09	という形で、それぞれの今回申請する対象設備がどんなものかというのをつけさせていただいております。
0:45:17	その次の添付 10 というのが第 2 回の 7 対象設備の分類計上結果ということで 255 ページからですね。
0:45:28	これは先ほどあった、今、中途半端に $\alpha\beta$ としてますが B で、もうすでに、
0:45:34	作り直した案を作ってますので、速やかに本を出したいと思いますが、
0:45:40	各条文ごとの申請対象になっている設備の分類を示したものになります。
0:45:46	いろいろ考え方であったり、2 項変更位置付けてるものがどんなものかといったもののそれぞれの説明を、右の方に、
0:45:56	とか左の大脇とか、いろいろちりばめてますけど説明を書かさせていただいてます。
0:46:04	お断りとしてはですねどれが一番わかりやすいかな。
0:46:09	257 ページわかりやすいのか。
0:46:17	それぞれの項目で書いてあるもので、今回、第 2 回を対象に数字を出しておりますので、
0:46:24	必ずしも全部が埋まってるわけではありませんが第 3 回などと登場する場合に、項目としてエントリーをしているものがあります。例えば、257 ページと、C クラス左側の C クラスのところに地下水排水設備、
0:46:42	C-3 とあって、0 となっておりますがこれ地下水排水設備が決してないわけじゃなくて、第 3 回に登場しますという意味で、項目を立ててます。ただ第 2 回としては、件数がありませんということで、
0:46:55	項目立てについては第三課も含めてちゃんとエントリーができるように項目をつけず、対象の数量としては第 2 回を対象に数字を書かせていただいていると、ということでございます。
0:47:07	はい。

0:47:08	258 ページからは、第 8 条の外部衝撃、竜巻からスタートしてましてそれぞれ防護対象の施設であったり、
0:47:19	評価対象として今回エントリーされているものは何かというようなことあと波及影響を考慮するものというのを、それぞれ対象としてエントリーをしているということでございます。
0:47:33	はい。
0:47:34	これが添付中でしてあと、添付 11 というのが、
0:47:41	これもすいません出しておいて、誤記が幾つかあるんですが、
0:47:44	添付 11 がですね 200。
0:47:51	278 ページから、すいません。
0:47:54	前ページって先ほどあった工事等で変更したものを、変更内容を、設備リストの中で展開をしているものになります。
0:48:02	はい。これを、
0:48:07	一部等行っていいのか、いくつか動きがございまして、それを修正して出し直そうというのと、あと明らかに丸のところに取り消せがあって消えてないところ
0:48:18	これは真上取消のところは 0 自体は消した方の力戦で中途半端になってたりとかですね、そういうところを修正をしたいと思いますが今考えて今回の第 2 回の申請対象設備で、
0:48:29	何らか、変更を加えているものっていうものを、
0:48:35	肌色というんですかオレンジ色といいですかあっちングしてる箇所に書いてあります。
0:48:39	県民から変更なしとしているものを耐震モデルの見直したら構造の変更は行ってませんというものを、高田石森の見直しをし活動の構造を変更しているもの。
0:48:50	あとそれ以外で新規基準に伴う変更ということで例えばですけど火災でパネルを変えたと、難燃化したものといったもの。
0:49:00	そういうようなものをそれぞれ利用して機器との紐づけをさせていただいております。こちらにつきましては特に耐震補強みたいなものはですね、どこをいじったのかが具体が
0:49:12	構造図でもそれを基にした構造図になってますので、
0:49:16	この共通 08 を修正する時にですね合わせて、構造で見直すところは口頭付こういうところを、パーツとして出してますとか、ここを変えてま

	すってのがわかるようなものを、この共通 08 につけて、お出しをしたいと思います。
0:49:32	かつ、この流れを整理しないといけないんですがモデルを変更したものとこの辺はですね、再処理が今金からの変更点で出しているものをこれにMOXのやつも入れて、その中で、
0:49:44	具体的な内容をお示しできるようにさせていただければと思っております。
0:49:50	はい。
0:49:54	はい。説明は以上になります。
0:49:58	ただいまの説明までで規制庁から瀬戸にございますが、
0:50:06	規制庁のタジリです。
0:50:08	どこからっての難しいんですけど、まず 51 ペイジー。
0:50:14	2 機内で、あとでちょっとページ戻るんでただ 210 ページとかで、
0:50:18	一応今回、対象条文こちらですよっていうのがまず書かれてはいるところなんですけど、この抽出っていうのはどのようにやられたかとかいう
0:50:28	例えば、また、一対一で申し訳ないですけど 6 ページとかのところだと当然全体の条文があって、
0:50:34	申請としてはこういうふうに頑張りますよっていうやつはもっといろいろある中で、今回あそこに列挙したものっていうのはどういうふうに抽出したやつでしたっけ、とりあえず設備考えればもう自然となりますよっっちゃう話なのかそれとも単に施設リストのところに丸抽出したらあれになりましたって話でしたっけ。
0:50:53	はい。与儀西田でございますはい。まず丹 12 と一体ですけど、設備リストの 0 をエントリーしていくと、こうなりますということになります。
0:51:01	はい。ちょっとリースを変わりました。
0:51:04	一応、ここに設備リスト見てきてるところではあるんですけど、今後、一つ一つ見ていて動いたりなった辺りのところないかどうか製造する形になるかなと思ってる場所なんですけど。
0:51:14	211 ページ以降のところなんですけど、ちょっと掴みきれなかったところがあるので確認しておきたいんですけど、閉じ込めとかの話をされていて、
0:51:24	今話をされた後の 9 とかを見ると、

0:51:28	いずれも1個ヘルプ1項申請として出てきてるもので1度も2回受けたものはないっていうのが主だったところっていう話ですかそれとも、類似の設備については一度認可を受けていて、ベースはあるんだけど、追加分として説明しなきゃいけないところがあるっていうのと使ってた、全く新しく説明する必要があるっていうことですかね。
0:51:50	植野石田でございます。はいまずはちょっと私の説明が誤解を与えたかもしれませんが全く新しいものを説明するというものではございません。すでに認可をもらっている場合もグローボックスありますし、そういった意味では、
0:52:03	今回、特に
0:52:06	排気風量とかの説明がですねいわゆる一行新規に該当するような過去、認可を終えているものの、解消になってません。ただ
0:52:16	何の実績もないわけではなくて普通に風量の設定ってのは他でもやる話なんですけど、グローボックスの関係で説明をするのは僕としては今回初めてになりますので、
0:52:27	そういったものを考えた上で、
0:52:30	グローボックス閉じ込めのところを説明をしていこうかなと思ってました。以上です。
0:52:35	はい。規制庁鳥井です。今おっしゃられたように、4分の2か忘れてましたけど幾らかMOXもうすでに1回認可を受けたもので、それ自体の設備として認可を受けてなかったとしても、ある程度実績というのはありながらそれを踏まえやってくということかなとは認識していて、
0:52:51	その時になんですけど再処理施設の方でいうと、結局MOXもその流れに当然乗るかと思ってるんですけど、1ポツとか2ポツと下の整理をしながら今進めようとしてるところなんですけど、MOXに関しては、
0:53:08	共通12と言えいいのかわかんないけど設備構造とかの話との関係ではどう進め来進めていこうとしてるかなんですけど、今のグローボックスとかの話は、構造っていうか、容量設定とかそっち系のお話しいにはなるような気がするんですけど。
0:53:23	ボックスって共通順位との関係ではどんな感じで進めようとしてるんですけどっけ。

0:53:37	はい。日本原燃石原でございます。はい。グローボックスの構造自体はおっしゃっていただいたように、委員会でも実績がありますし、どちらかという、
0:53:47	排気風量負圧の設定における容量の関係にも近いと思ってます。ただ外部衝撃データの話が出たり換気設備の外気取入口の設計を説明したいということで、
0:53:58	構造説明をしないわけにもいかないところもありますので、もともと持ってたのはこの分類をした中で共通 08 を組ませながら、構造説明として必要なものをピックアップしてこれを、
0:54:10	ふやしていくイメージでかつ、ここで説明することとあと個別の補足で説明することを 1 ポツと 2-1、2-2 の関係を整理をした上で、説明を展開していくのかなと思ってました。以上です。
0:54:24	規制庁鳥居です。ちょっと頭の整理李なんですけど共通 12 頭、今
0:54:31	この 08 の資料の添付の 11 っていうやつがいて、要はどういう設計変更とかあったんですよっていう話があったりはするんですけど、
0:54:38	今言った設備の構造を示さなきゃいけないやつは示していきますよっていうのは、共通 12 みたいな整理をするのかそれともこいつとかほ、この資料の 08 に関連付けるっちゃう話をされたのかということと今のはどっちの説明されたんでしたっけ。
0:54:53	はい。日本イシハラでございます。いいかどうかは議場させていただければと思いますけど、今考えたのは共通 08 の中で展開をするということで考えてました。
0:55:05	伊勢タジリです。今おっしゃられたのは多分MOXの方は、新規の、要は屋外とかで構造自体、強度評価とかそういうやつ的前提になるようなものってのがない中で、
0:55:17	共通 12 として作るよりも元から今別途作っているこのあれ、すいません、そもそも論で申し訳ない。添付 11 で最初に作ってましたっけ。
0:55:29	三浦でございます。どっちの立場で言えばいいですけど、協定書の中でやろうと思ってました。はい。ていうことです。だから
0:55:39	江藤、とりあえず大前提として、最初にか会合で宣言したように、
0:55:44	1 ポツとか上流からの流れ整理膝痛対象の設備とかがどう変わるっていうのはその 277 ページとか、その前のところで書いてるように、その流

	れとか、1ポツとか端まで書かれてないですけどその流れは当然載ったりながらやるけれど、
0:55:58	説明構造について再処理としては特に説明しなきゃいけないところがあるので共通12を作ってるところだけど、MOXに関しては、どういう説明しなきゃいけないところはあるとは思いつつもう12年で建てるよりも、今受添付の11みたいに立てた方が説明がしやすいっていうふうに進めていこうと思ってるってことですから、まず、
0:56:16	はい、二本木瀬谷でございます。ありがとうございます。そういうことでございます。はい。
0:56:23	はい。規制庁田尻です。今先ほど、これを膨らましてくような話があったんですけど、その膨らませ方って、
0:56:31	なぜかとかってというのは、今田葛西処理の方だとこの間、
0:56:35	別紙か忘れちゃったけど123って何か、それぞれあってこの流れでやってきますよとかの話を
0:56:42	ああいう考え方自体を踏襲すると思えばいいんですかね。
0:56:48	はい。日本原燃瀬谷でございますはい。考え方は踏襲する
0:56:53	同じ人間が考えて違う答えを出すのもあれなんで。はい。同じ考え方でやりたいと思ってました。はい。
0:56:59	はい。規制庁田尻です。基本的に施設の特徴とか申請対象のものが違うから、どこに力点を置きながらっていう触ったとしても、
0:57:09	同じ事業者が同じタイミングで申請してきている以上は同じ流れで考えてますよっていうのをやっていただかないと、全く別の考えなんですっていうのが横では知られてもう変になりそうな気がしているので、
0:57:21	どういったところに差分があってどういったところはコアの同じなんですよっていうところをもう少しわかりやすくしていただけるとこちらも見やすい方の、
0:57:30	今の状況で言うとMOXの方が少し綺麗かなと思っているところなんですよ。図とかもう簡略とはいえ、退職やねっていうのが今、わかるようなものがついてたりするので、
0:57:41	その状況になるので、なんかも複数で見ていく中で、再処理と全く違うんですよっていう話だとすると聞くのも厳しくなってしまうところがあるのでその辺りも考慮して説明していただければと思います。
0:57:56	はい。日本原燃肥田でございます。はい。承知いたしました。

0:58:01	次ですね。
0:58:03	ちょっと個別の話とかに入っちゃいそうなので、
0:58:05	一般論でやっぱり、
0:58:13	規制庁、古作です。
0:58:16	もっともっと、大分前の一般論に戻っちゃって申し訳ないんですけど、 共通 05 になるような話なのですが、
0:58:25	当今日の資料だと、
0:58:29	最下層で白の部分がありましてと。
0:58:33	いていたあたりです。ページで言えばいいのか。
0:58:42	206 ページとかですか。
0:58:49	206 ですか、ちょっと。
0:58:53	そう、そうですかね。
0:58:56	そうですね。
0:58:59	古作です。それで、
0:59:04	証拠のページ開きからでいいんですけど、
0:59:07	S A の設計進捗を踏まえてということで、第 3 回ですという古藤。
0:59:16	説明はあったんですけど一方第 2 回の申請としては、
0:59:22	建物を建てていくにあたり、天井を施工する前に反映したいと。
0:59:31	搬入する必要があるということで申請をされていてですね。
0:59:36	この知ろうの部分は、当搬入で良いいってことなんでしょうかという ところで特にグローブボックスなんですけど、
0:59:47	どういう違いがあるのかっていうのを説明していただいていいですか。
0:59:53	はい。日本原燃石原でございます。
0:59:58	全体はマスキング等であれですけど 207 ページっていただけますし ょうか。
1:00:05	先ほどピンクに塗っていたのは、207 ページでいくと、青色で塗って いる部分になります。
1:00:15	どこまで応募脳どこまで今後というかという話がありますがそれぞれ一 番、
1:00:22	真ん中であったり脇にいたいということで
1:00:27	グローブボックスの中では、連結した形にはなっていないがもう、相当 骨になっているようなグローブボックスですねこれが一番、搬入が後か らでは難しいということで大型の機器になります。

1:00:40	隣にそれぞれありの数についても、これパーツとしては機器がそれぞれに入っていてそれぞれが切り離して、
1:00:50	搬入ができるようなグローブボックスになってましてこちらはどちらかという今背骨になってるやつよりは火、小さい小物のグローブボックスでそれぞれカンピんで、
1:01:02	搬入ができる場とかでも搬入が可能だと、いうことで切り分けているのが現状でございます。
1:01:11	はい。補足です。後からでも搬入可能っていうのは、
1:01:17	ここの区画、部屋に、
1:01:20	収納する形になっていると、いうことだと思んですけど。
1:01:27	あとすいません、もし、機械情報に絡むような話を言ってるんだとしたら後で言っていいただければと思いますけど。
1:01:35	搬入の時って、
1:01:40	搬入孔みたいなのは、
1:01:42	を用意しているのか。
1:01:45	或いはその通常の、今後も使う扉のところから搬入できるということなのか、その辺りはどうなってますか。
1:01:56	はい。日本原燃市田でございます。はい。
1:01:59	あまり細かい話は出ませんが、当然ながら将来的なメンテナンスとか交換作業というのも考えた上で搬入高がありますし、
1:02:11	産業界のそういったグループとですなは、下張りおろすようなルートもございませつかつこの小型のは廊下を普通に渡していってもある、移動できるような、
1:02:23	大きさのものでありますので十分
1:02:26	羽生側からの搬入だったり設置が可能というふうに判断をしているところでした。以上です。
1:02:33	はい。補足です。
1:02:36	それー。
1:02:39	ていう当間今
1:02:41	交換の話もされた。
1:02:45	所D。
1:02:48	その話を、
1:02:52	今回聞いた方がいいのかと。

1:02:55	いうところで、
1:02:57	仕分けの考えからすると、
1:03:04	けど、
1:03:05	衛藤。
1:03:07	で説明できるかなみたいなイメージありますか。
1:03:16	はい。井手イシハラでございます
1:03:20	そうですねこの共通8の中で今第3回第2回、も含めた全体の申請計画の話をした上で、共通項にも絡みますけど、第2回はこれを対象にします。理由はこういうことですと。
1:03:36	他にはどうなだってところも触れた上でそれが、
1:03:40	第3回に行って茂木。
1:03:43	現実的に一括物理的かつ機能的にも問題ないんだということが、説明できないと第2回はこれでいいんだということに多分ならないと思うので、この共通8の中の申請の考え方みたい代理会の対象の考え方の中で、そういったことも設置
1:04:00	例をさせていただくようにしたいと思います。以上です。
1:04:06	はい。補足ですよろしく申し上げます。で、もう一つは、
1:04:12	第1回の時にも
1:04:14	特に管理官なりからはなCがあったと思うんですけど、
1:04:20	207ページの図。
1:04:25	見るのが一番わかりやすいところではあるんですが
1:04:31	他のポンチ絵とかでも、グローボックスってのは連結されていると。
1:04:37	いうことで、それを、
1:04:40	第2回第3回に分けて申請をする。
1:04:44	いう形に、
1:04:47	いるんですけど、演技というか、関連性っていうのをどう整理をして、申請範囲を決めてるのかっていうのを説明いただき、
1:04:59	はい、二本木西田でございます。はい。この連結は結局この見ていただいて207ページの縦長になってるやつも、幾つかのグローボックスが連結されているグローボックスではありますけどもおっしゃっていただけてる通り、
1:05:15	脇抜けてるところでもいわゆる連結をしたグローボックスになってます。

1:05:20	連結したときはそれぞれのグローボックスに対してどういう等、設計をして、どういう評価をしていくかということで一つは耐震なんかは、今個別、
1:05:32	耐震設計をし、変位なんかも確認をし、かつその間をつないでいるのがベローズなんですがこのベローズ特に何らか耐震上の要求を求めているわけじゃなくてただ間を繋いでいるだけということではあるんですけども、
1:05:46	隣のグループ須藤の関係でどういう設計をしているのかということを中心にピンで説明ができると、いうことを、整理をしていくところでございます。また、
1:05:57	次回でてくる連結しているグローボックスに対してどういう設計要求をすることによって、この第2回が成立するのかということもあわせて、整理をしてご説明をしようと思っておったところでございます。その準備はしてございますので、
1:06:11	整理をした上、ご説明をさせていただければと思っておりました。以上です。
1:06:18	はい、古作です。
1:06:20	再処理と同様に対応いただくという点では、1ポツで今の要求の整理というのを聞いて、それを踏まえて、2-1ということで構造設計としてこういう対応をとってますと。
1:06:36	いうことを、第3回分も含め、
1:06:40	見えるようになってないと、先ほど言ったようにその切り分けというところができないと。
1:06:47	ということだと思いますので、そのて意識して1ポツ2-1の説明をするようにしていただければと思います。
1:06:58	はい、乳井西尾でございますはい。承知いたしました。
1:07:02	はい。補足ですその上で、その上でというかその中でなんですけど、大枠というので今、耐震の話で言っていたんですけど閉じ込めの話でも同様のことがあるような気はするんですけど。
1:07:20	即効わあ、どんな感じですか。
1:07:25	はい。二本木西田でございます。はい。その点も整理をさせていただいてございます。閉じ込めの点でも、当然グローボックスに漏えい率を課して自製の試験をし、

1:07:38	その間をつないでるベルズといった接続部分も同様の要求が担保できるというのが条件だと思ってます。またそれは1年の排風機等の風量等の関係もありますけども、
1:07:50	グローボックスとしての要求事項というのをそれぞれ担当整理をし、どのポイントがその要求事項を達成すべきかというのを取り込み中では説明をさせていただこうと思ってた達成率で言います。
1:08:01	説明をさせていただこうと思ってます
1:08:07	排風機自体は今回申請でありつつ、それを、
1:08:13	排風機が受け持つグローボックスの一部が、次回になっているということ。
1:08:20	とでよかったですか。
1:08:22	はい、二本木理事でございますはい、おっしゃる通りです。そこは当然ながら風量と容量の関係とあとそれぞれの
1:08:33	漏えい率ですかね、の問題での計算になりますので、こういったグローボックスが対象になってそれぞれどういう容量を持っているのかということをちゃんとお示しをし、
1:08:44	それを担保にした上で、今回評価をお出しをする。
1:08:49	第3回では、確かにそこで設定した要領にここなってるよねっていうことを確認をいただくということで、整理ができればと思ってました。以上です。
1:09:01	はい、古作です。わかりました。仕分けの仕方としてはイメージと、私のイメージとは、あってはいるので、
1:09:11	今後具体的に説明をするヒアリングになったらですね、具体的にこの場所でこういうふうにしてまして、というようなこととお話しいただければと思います。
1:09:23	具体的には、要領の設定根拠だったりというところでその条件が明確になってるっていうことでよろしいですか。
1:09:33	はい。与儀西田でございます。
1:09:37	という規模で作らせ、作って私も確認しましたんでなってると思います。が、足りなかったらごめんなさい。出していきます。柴田。以上です。
1:09:45	はい。コサクです。具体のヒアリングのところでもた話ができればと思います。私からとりあえず、もう1点ごめんなさい。
1:09:58	はい、木藤なんですけど。

1:10:02	はい。鬼頭の絵がよく、
1:10:05	だからですね、206 ページにちょっと戻っていただいて、
1:10:12	おもむろに
1:10:15	1 階と二階の間のところに、
1:10:20	サポートのように書いてあったりするんですけどこれは何のつもりで書いてるんですか。
1:10:27	はい。メディアでございます今後、波及の話もあったんで第 2 回のご説明をしたかと思うんですけど、伊藤の真ん中、何らかぐらいたと思いますけど
1:10:40	金属の輪っかのようにサポートがついてますのでそれをイメージして書いてました。
1:10:48	はい。高速でサポートの意図だということでわかりました。
1:10:54	が、
1:10:55	これも構造設計として、2-1 で説明いただくということだと思うんですけど。
1:11:04	荷重としては、これ下、基礎になってて、
1:11:09	基本は下に、
1:11:11	荷重がたって、基礎で受けるっていう設計思想。はい、西原でございます。おっしゃっていただけてる通りです。
1:11:21	はい。わかりました。そうすると今話をしたサポートっていうのは、横揺れを抑えるためのことですか。はい。乳井イシハラでございます。はい。その通りでございます。
1:11:35	はい、迫です。わかりましたそういったところも、今後の 2-1 の説明の時には、
1:11:42	できるようにされてるとは思いますけども、よろしくお願いします。
1:11:46	私から以上ですかね。
1:11:48	はい、規制庁館です。1 点、日興メーカー 2 個目の質問に関連してなんですけど閉じ込めとか耐震の話があったところではあるんですけど、例えば火災とかに関しても
1:11:59	最終的な影響評価が一番最後の時ってのは当然認識してるんですけど、各区域ごとに今回何まで説明しようとしてるのかとかっていったところが

1:12:08	グローブボックスだから大丈夫なのかもしれないんですけど、区画化区域区画との関係で、
1:12:16	その部分そこに内包されるものの一部だけ説明ケースが多々出てきそうな気もしているので、そこらとの関係もちょっと整理して今後確認していきたいと思ってるんでよろしくをお願いします。
1:12:27	はい。宮城西尾でございます。はい。先ほどの話じゃないですが全体を示した上で第2回、切り分けてっていうところがあるのであればそれをちゃんと見して、
1:12:37	切り分けられる理由も含めて説明ができるようにさせていただきます。以上です。
1:12:42	はい。ちょっとですよろしくをお願いします。
1:12:45	途中で、
1:12:46	気がするんですけど、
1:12:48	量が重要なんですよって話とかとも絡むんですけど、MOXに関しては、まずこの条文優先してやってこうっていう施栓して説明していこうと思ってる
1:12:59	今終わってるんですかねさっきの10条は何となくわかったんですけど、終わったんですけど。はい、日本石野でございます。はい。そういう意味で今考えてましたのが10条を、
1:13:11	を規定にしてですが、17条の貯蔵、ちょっと順番に、受条文順番で言っちゃうと話がこじれる気がしますけど、17条のちょうど、
1:13:24	20条の廃棄23条の関係がまず、メインストーリーとして一つあるのかなと思ってました。理由は先ほど
1:13:35	はいキーが運用の全体を担っておりますけども、廃棄施設の関係で関係が出てきましてあとは、廃棄施設で引っ張ってる対象がグループということで十条を紐づけて、
1:13:47	各貯蔵施設の崩壊熱量の関係で風量設定が関係しますので合わせてということで、思っていました。
1:13:54	あとは外部処理Gについては、再処理が今話っているところに合わせていければなと思ってたところでした先ほど申し上げた通り1ポツの範囲については特段今、
1:14:07	説明することもなあとという思いながらということでございました。はい。

1:14:12	あとは、どちらかというとな処理が走っているのに以降で、類似するというのが、
1:14:22	耐震関係とかあと重大事故というのが出てくるというふうなことでございました。以上です。
1:14:28	改正
1:14:29	の時です。
1:14:35	外部事象とかS Aとか耐震はあっては
1:14:39	内部事象
1:14:40	ってというのは、そこまで重要じゃないって話ですかね。火災とか溢水の話ってというのはどうして感じですか。
1:14:48	はい。二本木西田でございます。
1:14:53	いつまでも松木はないっていうのは、お前が言うなよって感じもしますが。
1:14:58	火災については、基本的方針大枠、今回特に感知消火ですかね追加なり、これもあまり独自性がないじゃないので、
1:15:10	再処理が火災がどこまで走るか溢水見ながらなってしまうので、それを見ながら、あまりにも時間ばかりであれば、
1:15:21	MO Xで先に走らせていただくこともありかなと思ってます。一斉については今回
1:15:28	災害評価まで一体何に対して防護対象の申請までですので、
1:15:36	比較的再処理の状況を見ながら、その部分で一緒に説明ができればなあと思ってたところでした。ただいつまで持つつもりはないですというのが状況。
1:15:47	以上です。
1:15:48	はい。規制庁土肥です。
1:15:49	今よ
1:15:50	いえ、残りの申請
1:15:53	最後に、
1:15:57	そもそも対策自体もう一声で、
1:16:03	まさに、
1:16:04	対処の方法自体が違う
1:16:10	多分あるかなと。
1:16:12	ここで何か成瀬

1:16:14	オオハシ 2 次火災、火災なんですけど最初においても聞いてくださいっていうふうに言われると、結局全体どうなってるの今っていうふうに聞かざるをえなくなるので、どういうふうに進めていこうとしているのか、全体像を示しながら先ほど閉じ込めとか他の
1:16:31	学校等、
1:16:34	今日なんかで、
1:16:37	これは日本イシハラでございます今日お出しするものは、
1:16:44	全部言うと何か出しても、このまま出てきたのですけど、MOX 単独でやらしていただきたいって話の条文と、なぜかという話とあと並行してやろうと思ってる。
1:16:58	谷津 D 再処理と並行してやろうと思ったやつは再処理用との関係でどうやって進めていくつもりなのかということと、それぞれの、何月何月ごとにどういうものを、1 ポツなのか 2 の 1 枚なのかというのを説明していきたいっていう、条文の流れですかね。
1:17:16	映像をお出しをしようと思ってました。以上です。
1:17:20	はい。規制庁鳥居です。今口頭で言われたやつからものすごい追加情報あるかわかんないけど今日やりとりしてるような範囲。
1:17:27	ある程度文書で変えて、
1:17:30	そこを、
1:17:39	シミズコサクです。今の話でいうと、特に笠伊井。
1:17:44	なんかは、感知消火みたいなところと、影響評価というところは、ある程度切り分けて整理ができるんだろうなと。
1:17:54	ということですけど、その切り分けみたいな話はまず再処理の方で、こういう説明をしていくと、これで問題はないというようなことをお話をさせていただくと。
1:18:07	ミックスでせ整理が必要なところというのがそれで、この部分に入り込みますって説明ができますと。
1:18:16	ということになるのかなと思ってるんですけど。
1:18:19	そんなイメージで大丈夫ですかね。はい、右田でございます。おっしゃっていただいている通りだと思ってます。まず、どっちに軸足を置くかと言いながらも、今原燃としては最初に今走らせてますので、
1:18:33	第処理を今メインに走らせながらじゃあ僕としてはどういう部分を切り分けて MOX としての差分を説明していくのか、というようなことかなと

	思ってますのでそういう形で進め方が整理できればと思ってました。以上です。
1:18:47	はい、古作です。もう一つは閉じ込め名とそれに関連する条文をまとめてということなんですけど、
1:18:56	これも結局はですね、グローブボックス数のところが一番大きくて、耐震設計にすごい依存をして、
1:19:08	どっちが依存というのかわかりませんが、関連してくると。
1:19:12	ということがあって、再処理で行っている、優先して、
1:19:18	先行してやりたいと言っている主要条文と、
1:19:21	いうのに合致するんだらうなと思ってんですけどその認識でいいですかね。
1:19:29	はい。二本木西田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りかなと思いますので
1:19:36	同じような説明をすればよかったですね。まさしくグローブボックスそのものがいわゆる骨格になる設備であり、その耐震なんかの設計をするためには、今回の切り分けの部分であったり、の設計としての説明性っていうんすかね。
1:19:53	というのがないと、成立しないってのもありますんで、まずはそういうところを説明させていただくということかなということでした。以上です。
1:20:03	はい。補足です。その点で言うと、先ほど少しお話した廃棄等も、その閉じ込めの一連として、
1:20:12	あるのかなって気もしますが、廃棄って話は出てこなかったのでもちょっと微妙だなと思うんですけど、どうなってます。
1:20:26	はい、乳井西田でございます。廃棄廃棄の条文は先ほど 20 条として合わせてやるチーム入れさせていただいてました。いわゆる廃棄等は、
1:20:37	排気設備の出口へ、排気設備の一部で出てきますのでそこは一連説明はさせていただけるかなと。
1:20:45	と思ってました。とはいえ所排気塔ほど、
1:20:49	なんでしょう優秀なものでもないですし、企業があまりあるわけでもないのでもどこまでかというのはありますけどもその背景の一部として説明をさせていただこうと思ってました。以上です。

1:21:03	はい、補足です。ちょっとそれを言われたところのページが開かなくて申し訳ないんですけど、閉じ込めと一体として説明する範囲に入ってるってこと。そうですね先ほど、
1:21:16	表を見ながら説明したので今日お出しする資料はそれがわかるようになってます。
1:21:22	閉じ込め等、あと 20 条の廃棄と 23 条の換気後利益崩壊です関係で貯蔵を、17 条ですね、これを一体となってるというのがわかるようなイメージをつけさせていただきつもりでした。以上です。
1:21:38	はい。補足ですわかりました。で、先ほど言った耐震設計上、
1:21:47	事前に
1:21:49	各条の要求からの構造設計を説明する必要があつてと。
1:21:54	いうものはそのほかに何かありますか。
1:22:07	うん。はい。宮城瀬谷でございます。はい。
1:22:12	今の、そういう意味でいくと、今回、DB と経緯なのであれですけども SA 側で出てくる排気設備もあわせて関係はするといえましょう。
1:22:26	ただこれも 1.2 S s SA の要求が絡む部分ではありますので、正として説明をしながら、
1:22:32	の対応ということになれば、火災の S s 機能維持の話ですか。
1:22:40	が入ってくればそれが、耐震等絡むかなと思います。ちょっとそこは、整理をさせていただければと思います。以上です。
1:22:49	はい。補足です。それも、早く登場人物を明確にして、どう進めていくのかと、いうことを確認しておいた方が、
1:23:01	再処理等合わせてやっていくという上でも、
1:23:05	大事かなと思いますのでよろしくお願いします。
1:23:09	はい。日本石田でございます。はい。承知しました。先ほどあった共通 8 の中でも A と B に入れ替えますけど、設備の分類の中で、機能維持が必要なものってのはもうすでに挙げてますので、それとの関係で、
1:23:23	この説明の進め方ですね、の優先順位の中に取り込んで整理をさせていただければと思います。以上です。
1:23:32	はい、福崎ですよろしく申し上げます。田崎さんどうぞ。
1:23:36	はい、規制庁当日ありがとうございます。で、ちょっとその辺、少し
1:23:40	気になってしまって恐縮ですが、ページが、
1:23:43	ページのところなんですけど、

1:23:46	こちら先々整理しなきゃっていうだけだと思ってるんですけど、1項申請と2項申請があって、再処理で言うんだったらF S絡みは1項申請の方だけですよっていう形だったりすると思うんですけどボクサーそういう考慮が要るもの。
1:23:59	ていうのはないと思っいいんですかね基本申請見る限りだとすべて1工区は仲田側に寄せながらっていう形だったかなと思ってるんですけど。
1:24:09	はい、二本木西浦でございます。はい。特にそれはないと思ってました1項に、どちらかというコラボがほとんどでして、1校側で、
1:24:20	寄せて下でも全然市制重畳成立するかな。
1:24:25	思ってました。以上です。そういうことを整理して今回この形にさせていただきますということでございます。以上です。
1:24:31	はい、規制庁と2です。基本
1:24:34	なのかなと思っつつ、例えば今2個の方で堂々っていうのはこっちだけに書かれたりするんですけどここは別に、
1:24:40	どっちにっていうものでもないから、まとめて1項のほうで説明し、
1:24:56	お届けを宮城仁科でございます。そこを突っ込まれると思って、はい。労働が一番面倒くさいですねそういう意味でいくと
1:25:04	建物構築物は1階を2項変更で出しているもどうもこうだろうと、指摘が漏れい防衛堰が墓石が、建物構築物で一行新規に入っているの、
1:25:15	例えば構築物という明確では言って入ってるんですけど、そこも、すいませんそこについては別途また整理をさせていただきました。
1:25:25	はい。規制庁谷井です。まず、セイリガクの話ではあると思っているんですけど最終的には申請書どう整えていくかっていうところの話にもなると思っるのでご検討いただければと思っるのでよろしくお願ひします。
1:25:42	長シミズ他島規制庁側からちょっと確認ございますでしょうか。
1:25:54	規制庁館です。ちなみになんですけど今日資料出てくると思っんですけど、再処理みたいに何かまた
1:26:01	表のスケジュールっていうんですかね、名前知らないんですけどスケジュールがあると思っけどああいうのってまたMOXもどっかで出してくるんですかね。
1:26:09	はい。日本原燃石田でございますはい。細切れで大変恐縮ですでお話した通り、今日考え方を出して、

1:26:17	もともと最初のスケジュールがもうちゃんと決まってるのが前提ではあるんですけど、それを今のスケジュールを前提に、MOXを入れ込んだやつを金曜日にお出ししようと思ってました。はい。
1:26:30	はい、規制庁館です。要は、どちらが知る形になるので合わせてやっていくようなやつは構わないんですけど別途走りたいうてやつは要はヒアリングの日程とか業務量の
1:26:41	タイミングとかを見なきゃいけなくなってくると思うんで、早めにスケジュール示してもらえればそういうのも見ていきたい、見ていきやすいかなと思うんでよろしくお願いします。事務部から以上です。
1:26:49	大丈夫。はい。日本原燃石田でございます。はい。自分のためにも必要なので。はい。合わせた形で見える化します。はい。
1:27:00	他は全体通して規制庁は確認でございますでしょうか。
1:27:08	とコサクです。今日提示されると言っていたスケジュール関係が
1:27:15	わかればいいのかもわからないんですけど、
1:27:17	あの会合においてわあ、3月ですね、3月の会合においては
1:27:24	再処理がや、これまでやっている或いは3月で予定している。
1:27:30	耐震の1ポツだったり、外部衝撃の1ポツ2-1だったり、
1:27:38	いうことについてはどうするおつもりですか。
1:27:48	はい、宮城西原でございます。はい。
1:27:53	3月におきましては最初にあって1ポツ、いわゆる地盤のところは直接関係ありませんし、あといわゆる既認可の変更点みたいなものですね。
1:28:06	というのは今共通8、示しさせていただいてるものに加えて、ちょっと後に遅れてしまいました。昨日再処理が出している耐震建物01ですとか、
1:28:20	今後、最初に言います、きれん側のいわゆる耐震金に係る変更点、こういったものにMOXを入れて、あわせて説明ができるように、進めさせていただこうと思ってました。
1:28:34	あと外部衝撃につきましては1冊の話はすでに第1回で終わってますので器1台1回きりんかも含めた上でも、
1:28:44	新たに追加する事項はないというのは最初は前回やったものとステータスが変わらないと思ってまして、あと2-1としてやるものは、先ほどありまして、

1:28:55	いわゆる会計の設備のですね構造、とはいえ、今回契約者のところは構造説明しないと共同評価にも結びつくかどうかありますので話後は、火山とかで言う、いわゆるフィルターの
1:29:11	設計の話ですね、そういったものをニノイチとして準備をして、説明をしていければなと思ってます。ここでも、いわゆる先ほどのページで言う第8条のところにですね今回追加するものは何かと。
1:29:26	いうのは書いておりますので、そこに絡めてその部分の2-1の説明ができるように整理をさせていただきたいと思います。以上です。
1:29:37	補足です。
1:29:40	再処理の3月が余りに宙ぶらりんな状態になって、
1:29:46	行くようなので、
1:29:49	も複数の具体が入ってこないというほど、切迫感はないのではありますけど、
1:29:56	どの程度を入れ込むつもりなのかというところで、
1:30:03	具体的にしていければなと思います。ありがとうございました。ちょっとですねこれNO2の1年何を説明するかってのは、ものは当然ありますので、資料として、
1:30:18	この共通発注拡充しながら、至急お出しをしヒアリングができるようにさせていただきますその中で、2-1として具体的に何を展開していくのかというのがわかるように、
1:30:31	させていただければと思います。外傷部分ですね、いうことで整理をさせていただければと思います。この体制については実施、耐震の方については再処理と横を見ながら、
1:30:43	合わせてやらせていただくのでそれも踏まえた上での展開かと思います。以上です。
1:30:50	はい、補足です。
1:30:52	全般的に廃棄等の話も先ほどしましたし、グローブボックスの連結の話もしました。
1:30:59	なので、それが
1:31:03	データとしてですね出てくるというようなことかなと思ってますので教えてくれというようなことかなと、準備を進めていただいて再処理の資料提示と合わせて、
1:31:15	お話をしていければというふうに思います。よろしく申し上げます。

1:31:21	はい、与儀西田でございます。しました。
1:31:27	長シミズです。全体を通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:31:35	と思います。なければ原燃側から振り返りをお願いします。
1:31:47	はい。三浦でございます。はい。まず教育 8 としては
1:31:55	先ほど全体的に修正しますと言った箇所は修正を角谷高岸というかほとんどもう終わってますので次出すときに、改正させていただきます
1:32:05	あとは先ほど第 2 回での申請としての考え方のところ、いわゆる第 3 回との切り分けですね、これができるか、できるんだということの考え方、どういう設計が考え、関係して、
1:32:21	それに対してこういう切り分けで整理をして、第 2 回の対象設備が単独で成立しますということの考え方を整理し 9 個の
1:32:31	資料を修正していきたいと思いますというのが 2 点目。
1:32:39	あとは、
1:32:42	途中で直しますといった添付 11 ですね、直動きの修正、10、構造変更させていただきます。
1:32:58	爾見。あとは、先ほど辰巳さんからあった全体の 1 項の引当のところはちょっと整理を継続してさせていただきたいと思います。はい。以上です。
1:33:13	どうぞ。
1:33:14	あと西田小石でございます京田清谷津に先ほど考え方であったり 3 月の審査会合での案件をどう考えるかというところ。
1:33:25	それに必要な資料がどんなものかというのを、
1:33:29	追加をして出せるように準備をさせていただきたいと思います。
1:33:37	はい。補足です。
1:33:38	念のためですけど、再処理が耐震と耐震に関連スルー。
1:33:45	影響する、主要条文と言っていた構造も基本踏襲される、それを踏襲してやっていきますというようなことでの説明をされるという理解でいいですね。はい。日本イシハラでございます。はい。その考え方もあわせて、
1:33:59	記載をさせていただいて基本的にはおっしゃっていて、
1:34:02	再処理でやってきた。
1:34:03	あと、
1:34:06	小崎ですよろしく申し上げます。

1:34:11	はい。規制庁志水です。他絶対果たして規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:34:18	元側もよろしいでしょうか。
1:34:23	はい。井上西田でございます。こちらも特にございません。
1:34:27	それではこれで本日のヒアリングを終了したいと思います。登録を整理します。
0:00:01	それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始します。
0:00:05	本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請のあった、設計及び工事の計画の申請についてヒアリングを行うものになります。
0:00:14	資料は、3月3日に提出されたものと、本日提出された11名になります。
0:00:20	まず規制庁側の出席者は本庁からオオハシタカナシセトガワになります。
0:00:27	ウェブでの出席者は、コサクフジワラとなります。それでは原燃側から出席者の紹介と、議題の構成の確認、説明範囲達成目標を説明してください。
0:00:40	はい、日本原燃事務局半ばです。
0:00:43	減免側の出席者紹介いたします。
0:00:47	まず事務局より、サトウタカハシセガワフジノナカハマ
0:00:55	本日ご確認していただきます。資料説明。
0:00:59	担当でホリグチタマウチとなっております。
0:01:04	それではですね、本日のご確認いただきます資料、蒸発乾固の00-01及び十時17、
0:01:13	から説明を開始させていただきます。
0:01:19	はい。日本原燃のタマウチでございます。まずですね、蒸発乾固0001-055年3月3日版ですね、説明をさせていただきたいと思っておりますよろしく願いいたします。
0:01:31	今回の説明の趣旨ですけれども、前回2月14日にいただいたですね、ご指摘事項の反映とですね、
0:01:38	あと本文の記載事項として、第5表という手順の表があるんですけども、そちらについても追加をしていますと。
0:01:45	いう点ございますのでこの2点についてお話をさせていただければと思います。

0:01:50	はい。
0:01:51	早速ですけれども、
0:01:55	資料のまず1ページをお願いします。
0:02:01	教えてくれんですね。はい。
0:02:05	ステージページ見ていただくと、共通項目の9分の4というところが見えると思うんですけれども、
0:02:11	あとですね、まずコメントとご指摘事項でいただいた
0:02:17	事業許可申請書の本文添付資料6という欄にですね、本文8号ですとか、添付書類8からですね、飛んできてる場合はそれがわかるように明記する。
0:02:27	というところをやっておりますのと、
0:02:30	あとこのページでいきますと、左側から2番目のですね基本設計方針のところに、
0:02:35	評価からの変更点というところでその重大事故通り発生させる要因ですね、こちらを明記させていただいたと、いうことになります上から123パラグラフ名になりましてその頭にですね、
0:02:47	重大事故同時発生させる安全機能の喪失をもたらす要因は、事業指定変更許可を受けたですね設計基準に厳しい状況の要因となる、下の外部事象の地震ですとか、こういった話をですね。
0:02:59	させていただいて、繋がりをですね、わかるようにさせていただきました。
0:03:03	はい。
0:03:04	あとですねこのページでいきますと、そのままですね下の同じ基本設計方針、
0:03:10	二つ下の段落を見ていただきますと、連鎖
0:03:14	に関する記載をですね、本文8号から取り組んでいる場所がございます。
0:03:20	前回はですね、非常に何て言いますか記載を簡略化してしまっておりまして、ポイントとなる部分が欠けておりませんでしたので、
0:03:30	それをしっかり書くようにですね、改訂しておりますこの委員会ですと、しっかり特徴としてですね、
0:03:38	核燃料物の濃度に制限を設定するようにした形で、形状寸法管理及び濃度管理による、

0:03:44	委員会でバランス防止が講じられているというところをですね本文とですね同じように、
0:03:49	記載するというので、
0:03:51	しっかりですねわかるようにさせていただきました。同じようにですね続く 11 ページですとか、
0:04:00	あとその次の 12 ページ。
0:04:03	引き継ぐ文章につきましても同じく記載を改めさせていただいております。
0:04:08	12 ページをご覧くださいんですけども、
0:04:12	もう一つのご指摘事項といたしまして、基本設計方針には書かないけれどもその材質ですとかあと細かい牧野情報そういったものはちゃんと添付に飛ばす。
0:04:24	飛ばしてですね説明するというですね、方針を示すという点がございました。
0:04:30	こちらの
0:04:31	通しの 12 ページでいきますと、
0:04:34	有機溶媒による火災または爆発、T B P の分解反応のれんさんの文章になっておりますけれども、具体的な機器名称をですね、
0:04:43	事業許可の本文の方では記載しておりますが、こちらのグレーハッチングしております具体的に一番上の分離建屋第 1 貯留処理槽から書いておりますけれども、こういったものは、四角一番としまして、
0:04:54	添付で示すということにしています。この四角一番のですね、解説につきましても、前回大変申し訳なかったですが、飛んで消えておりますので、
0:05:04	あとそれをですね当社の 16 ページ。
0:05:06	の方にですねしっかり入れさせていただいております。
0:05:11	16 ページをご覧くださいと思いますはい。
0:05:14	了解ではですね、下から下の方のところで 2 ポツのところにですね、
0:05:20	四角いということがございまして、設計交渉の詳細はですね、添付の方で示しますというものを新たに書いてます。
0:05:27	同じくですねテンパチの方に関しまして、この軸 16 ページのですね、下から 4 行目のところで、7 月の 2 というものを示しまして、

0:05:36	こちらですね、添付で展開するものをですね、明確にするということをしております。
0:05:42	あえてここを見ていただいたところでもう1回文章に戻っていただきたいんですけども、
0:05:48	12ページをお願いいたします。
0:05:55	はい。12ページというところで、
0:05:57	先ほどの四角い以外にですね添付の方にも、記載するものにつきましては、
0:06:04	テンロクの、
0:06:05	ご覧いただきたいんですけどもひし形2というところで書かせていただいております。
0:06:11	同じようにですね、
0:06:13	めくっていただきますと、14ページお願いします。
0:06:22	はい。14ページですね一番右から、
0:06:26	2列目のですね、添6のところに関しましても前回ご指摘あった財津に関してもですね、し菱形にというところで、店舗の方で展開しますという方針を記載させていただいております。
0:06:41	というところが、まず、共通項目に関してのですね、コメント反映状況ということになります。
0:06:47	引き続いてですね。
0:06:49	後半の方のですねご指摘事項というところでいかせていただきたいんですけども43ページをご覧ください。
0:07:00	はい。43ページをご覧になっていただきますと、
0:07:05	代替冷却水系のですね15分の7というところになりますけれども、本文のところのですね、ページの鳥羽白井のところは適正にですね提出させていただきますので、
0:07:15	他のところも、間違いないようにですね確認しております。
0:07:19	あとですね、
0:07:20	設計、基本設計方針のところ、下から2段落目のところ点検補修というところですね。
0:07:27	こちらは点検補助で統一するというので、許可からの変更点というところを記載させていただいております、理由といたしましては、
0:07:35	規則の解釈ですとか、第33条、

0:07:39	すいません第 36 条ですね、用いた記載に合わせてですね、適正化していきたいと考えております。
0:07:45	実際、発電炉ですとか弊社内の社内規定でどう使ってるかっていうところも確認したんですけれども、
0:07:51	社内は、昨年度ですと保守点検、あと社内規定ですと統一されていないところがあって本規程を見るとですね点検保守ではなくて保守点検という表記があったんですけれども、
0:08:03	やはりこちらはですね、条例の第 36 条の記載。
0:08:07	あとは許可制の観点で、
0:08:10	事業指定規則のですね 33 条の記載に合わせると、
0:08:13	いうところで点検補修に統一させていただいております。
0:08:17	はい。
0:08:19	続きまして、
0:08:22	というところがですね 0 別紙の 1 に関しましては、
0:08:27	以上になりまして、続いてですね、別紙 1 の別添の方での反映点について、簡単に説明させていただきたいと思います 77 ページをお願いいたします。
0:08:42	はい。
0:08:43	77 ページをご覧になっていただくと、左側のですね、本文 8 号の記載、白抜になってる部分についてですね、本文で拾い上げているところが見えないというところがあったので、その本文で拾い上げてるところですね。
0:08:58	しっかり右側のですね、設工認申請書の本文の記載更新、記載の内容のところ、
0:09:05	反映してる内容を書き変えたということですね。あと四角枠をつけまして、こちらで、
0:09:11	今回反映したということですね、理由を書かせていただいている。
0:09:16	こういうふうにして見やすく会長させていただいております。
0:09:21	はい。
0:09:22	あと 115 ページをお願いいたします。
0:09:29	はい。
0:09:31	115 ページのですね、

0:09:34	添付書類 8 のですね列のところで、b ポツ燃料の 2 段落目にですね、経営町長の話がありますがこれ前回、白抜き劇って中でこちらはグレーにしてですね、ひし形の 8 番というところで、
0:09:49	この経営貯層が所属する方ですね、電源の 0001 の方で示しますと、
0:09:55	いうことをですね、書かせていただきました。
0:09:58	はい。
0:09:59	あと、続いて 117 ページをお願いいたします。
0:10:05	はい。117 ページ以降は、ちょっとこれまでのですね本文の記載事項としてですね、抜くべきところがちょっと足りてなかったっていうところがですね社内で全条文展開して気づきましたので、
0:10:18	すいませんこちらもちょうとさせていただいております。
0:10:21	具体的に達した内容は、左側の列をご覧になっていただいて、第 5 表ということで、重大事故最初におけるですね、手順の概要というものがございましてこれ本文の表でございまして、
0:10:32	こちらの内容につきましても、添付書類 8 のページのところとしっかり比較をしてですね、
0:10:38	反映すべき、今回の設計、
0:10:40	基本の方針にですね、反映すべきことがないかどうかというところを、比較してですね。
0:10:47	調査したというところを 117 ページ以降にですね、追加させていただいております。
0:10:53	はい。
0:10:54	確認の結果ですね手順の内容が思うというか、すべてだったので、こちらからですね、反映していくところはないという結論で、現在の別紙 1 になっていると考えております。
0:11:06	こういう作り方でですね、基本設計方針変えていきたいと思っておりますので、
0:11:11	内閣に事実確認ですとか、ご指摘ございましたよろしく申し上げます説明は以上です。
0:11:20	それでは次、
0:11:23	それでは規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:11:28	はい規制庁タカナシです。

0:11:30	まず前提としての確認なんですけど、今回の資料通しの3ページのところの位置付け届くところを見ますと、記載不備事項の修正については見たいよということで、
0:11:43	要は、青字の部分のところをまず見なおしてわくわくテイカーのところの修正をしたという
0:11:51	理解でよろしいでしょうか。
0:11:56	はい。日本原燃のタマウチです。はいおっしゃる通り青字のところをです。ね今回修正させていただいて、その他の細かい他の条文との横並びで気づいてる点ですとか、そういった表現についてはまだ、
0:12:09	ちょっと表現できてないんですけども、主立ったところは修正させていただいたという位置付けになります以上です。
0:12:17	はい。規制庁高橋です。その上で幾つか確認をさせていただきます。
0:12:22	今日、規制庁高橋です。先ほどちょっと説明が先ほど説明がありましたけれども、通しの12ページのところで詳細、個別の機器名とそういうのは、
0:12:34	添付の方に送るということでハッチングをかけたというようなお話し説明があったかと思えますけれども、ちょっと通しの13ページの方行っていたかと、
0:12:45	一番確かに一番上のところですね、分離、ちょうど真ん中のカラム、事業変更許可申請書本文のカラムのところ、分離建屋一次処理設備の何とかってところの2は使っていて、先ほど説明があった通り四角の1がついて、
0:13:00	送るという形になってるんですけど、少し下にあって、1、1パラグラフ飛んだその次のところですね、上記以外のところの、
0:13:10	説明のところでは、いくつか洗浄第一選択全体洗浄機とかっていう形の形がはっきりわかってなくて、その薬品名だけのところに、
0:13:22	四角がついていて、実際その隣の基本設計方針では、そこ等でくくられているんですがこの辺の関係ってというのは、ちょっと整理が合っていないようにも見えるんですけど、
0:13:33	どういう整理なのかというのを聞かせてください。
0:13:42	はい。日本原燃のタマウチです。
0:13:45	ここの整理なんですけれども、上の方はおっしゃる通り、具体的な機器を出さなくてもですね、機器全体として、冷却機能の宗新城浅香の発生

	を活用する機器というところにくくって書かせていただいております、
0:14:00	後段の方には、
0:14:03	有機溶媒を受入れるような受けることがない貯槽についてを記載しているんですけども、
0:14:10	とですね、理由として、上流にどんな機器があるか、どんな機器があるから、有機溶媒が入らないんですっていうところは特徴として押さえ押さえとくべきかなと考えれば考えまして、
0:14:23	このT Bピース洗浄塔ですとかT B P 洗浄機に関してですね、頭でくくったというちょっと位置付けにしております。日本原燃の清がちょっとだけこそ、
0:14:37	すみません、ご指摘は多分ですね本文のところで、本来グレーハッチングで第1 洗浄機第2 洗浄機第3 洗浄機も下ハッチングしなきゃいかんだろうというご指摘かと思えます
0:14:49	申し訳ございませんずれハッチングの漏れでございます以上です。
0:14:53	規制庁の方の質問としては確認としてはそういう趣旨なんですけれども、等って書いもう一つ突っ込むとですね、等って書いた場合にもうハッチングするのかどうかという整理をちょっと聞きたかったんですが。
0:15:11	日本原燃の瀬川です。この場合であれば第1 洗浄機だけを、グレー白抜きにして、
0:15:19	それ以外は第2 洗浄機と第3 洗浄機は等という言葉に置き換わってますのでここはその場合はグレーハッチングじゃないですね並み線波線ですね、波線にした上で、
0:15:34	この場合どう動作をするんだと思ってくださいね。すみません別紙1の書き方のサポートしてちょっと
0:15:43	どうすべきかってのはちょっと持ち帰り整理させてください。うん。うん。
0:15:48	はい。規制庁の鍛冶です。やりながら、南線でもあるっていう場合なので、ちょっと考えます。
0:15:54	はい。規制庁高橋です多分その辺、他の、今回多分修正なかなかかなかならなかつた部分でもですね、該当するところがあるかと思えますので、全体統一するように、整理をいたしていただければと思います。
0:16:19	はい。それから規制庁、高梨です。

0:16:23	ちょっとすみませんそれだけお待ちください。
0:16:28	あんまり先行っちゃう。ちょっと私の指摘先なのでもしこのあたりで他の方で指摘が、確認があればちょっとお願いします。
0:16:38	あまり先のページあたりなんで、
0:16:40	規制庁のフジワラです。衛藤先ほどのタカナシからのコメントと、道路になって全体整理するとき、綺麗になるのかもしれないんですけども、
0:16:51	20 ページ、
0:16:53	の右下 20 ページのところ
0:16:59	監視確定設備のところの読み込み。
0:17:03	があって、視覚さんがついててハッチング。
0:17:08	がかかっている部分があるかと思うんですけど。
0:17:12	これは、この範囲が主排気塔からの部分も入ってるんですけど、これって正しいですか。
0:17:33	清町のフジワラすみません音声聞こえてますかね。
0:17:36	日本原燃田丸です。はい。すみません聞こえます今ちょっと、記載箇所を確認しておりました。少々お待ちください。
0:17:42	はい。
0:17:43	その際にここも何かあの当時くくったりとかした部分もあってそういったところの整理も、
0:17:49	併せてタカナシ高良のコメントとともに考えていただきたいところではありますので、
0:17:57	どんな感じでしょうか。はい。日本原燃の瀬川ですまず、ちょっとグレーハッチングでほ他で展開するとするのベストなのか、伊波線に置き換えるのがベストなのかっていうのは合わせてちょっと再整理させていただきます。
0:18:12	主排気塔についてはですね、今ご指摘のあったところの一つ上のカラム中 19 ページから 20 ページにかけての
0:18:23	また書きの文章の中で、主排気塔は常設 I I S A 設備に位置付けて、対処として用いますということを書いているもので、
0:18:39	ちょっとあれですね説明、整理がちょっと。

0:18:45	言えないかもしれないですね。はい。江川さん、今、宮さんのご指摘は管理環境関係に飛ばしすって言ってるのが、排気塔を入れちゃうと多分違うんですよ。
0:18:57	そうなんです四半期と本当はこれ白抜きにしたほうがいいんだと思うんです。はい兵庫県にして左の文書、業績不振入れるべきなのか、そういった、
0:19:08	飛ばすものなのかその辺をちゃんと位置付けてでしょ廃棄等はこの中で説明するならこの中に重畳して展開していけばいいだけですし、
0:19:16	行わない。
0:19:18	はい。
0:19:20	ちょっと問題は認識しましたちょっと宙ぶらりんな感じになっているのがちょっと見えたのではい。
0:19:26	修正いたします。
0:19:28	室長藤村ですよろしくお願いします。
0:19:32	あとすいません続けてタカナシがもうちょっとあるかもしれないんですけど、
0:19:39	す。もし、今回修正されて、説明があった10ページのところではあるんですけども、
0:19:47	ところで、許可のときにどう整理して、同時の話。
0:19:53	にっていうことを記載されてた部分なんですけど、
0:19:58	前に多分ヒアリングでも、ここでいきなり地震とか火山とか出てきてっていう話をしたところを、継続的に基本設計方針で整理を、添付資料や補足説明資料を整備する中で、
0:20:13	フィードバックかけて整理はされていくので、もう後まではこちらのゴリゴリとやるつもりはないんですけども、ここで江藤初めてこういった話が出てくるような気がしていて、
0:20:25	同時LANCRの話をするところでききなり出てくるのではなくてそもそも、冷却機能喪失が起こるのってっていったところで、まず出てくるのかなと思ったんですけど、認識いかがですか。
0:20:43	愛日本原燃の瀬川です高齢はそうですね。
0:20:51	辻原さんがおっしゃられたのも、もっと頭もそうです頭の方で、
0:20:57	そもそもこの対象。

0:20:59	蒸発乾固への対処の設備を設ける前提として、こういう設計を超える条件というのを考慮した上で、
0:21:07	代替事例とか設けるんだよというふうに最初の冒頭の方で宣言するべきではというご指摘ですかね。
0:21:16	規制庁の藤原です。はい。そういった方がこの流れにちゃんと乗るのかなと思っていて、いきなりその同時がさっき言ったところでポンと出てきてしまうと、
0:21:27	なんかあまり綺麗な流れではないのかなと。もともと冷却機能喪失というのは、こういう要因によって起こって、だから同時としてこういうふうになるんですっていうふうな感じになるのかなと思ったので、お伝えさせていただいてるところです。
0:21:43	はい、日本すいませんご指摘の通りですね、通して読んだ時にはやはり唐突感があると言われれば、その通りだなというふうに思いましたので、
0:21:53	ちょっと東條のさせ方もちょっと今一度整理させてください。以上です。
0:21:59	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。
0:22:06	規制庁側にほかに質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:22:10	はい。
0:22:11	規制庁大橋ですけれども。
0:22:13	確認をしたいと思います。
0:22:17	12 ページですけれども、
0:22:21	12 ページの、基本的方針の記載のところですが、ここの2 段落目のところで、その3 行目のところの、
0:22:32	その良いの有料の T B P 等を受入れることを前提としていない。
0:22:38	冷却機能喪失という言葉がありますけれども、この辺っていうのが、許可申請書本文のどこから出てきた辺りの表現であるのかっていうのを確認したいのと、
0:22:48	あとは、前提としていない、蒸発乾固発生する何々の溶液に有意な
0:22:57	有機溶媒が含まれることはないということで、
0:23:03	若干その等々、トートロジーみたいな表現になってる気もするんですけども、いかがでしょうか。
0:23:15	はい、日本原燃タマウチです。まず初めですね、

0:23:20	有意量のTBPを受けることを前提としていない機器については、右の です。本文の、
0:23:27	上記以外の貯槽においては、
0:23:31	からですね。
0:23:36	グレーハッチングのところを取り過ぎて、洗浄及び再生されることか ら、これぐらいの負担はする貯槽には入らない。
0:23:43	書いてるところをまとめた表現というところを書いておりました、ご指 摘の通りですねちょっと、
0:23:51	同じことを書いてしまっているところがありますので、
0:23:57	ちょっとここは表現をすいません見直させてください。はい。以上で す。
0:24:02	はい。そうかと思えますので、
0:24:05	よろしくお願いします。
0:24:07	あとは、ちょっとその細かい工期はあれって話なんで、今回は話なんで すけれども、14ページのところで、
0:24:15	一応、指摘だけしておきます。確認したいんですけれども、
0:24:21	14ページの基本設計方針のところの、4行目d0に移動する系統という ふうに書いてあって、許可申請書本文では統一するユニットっていうふ うな言葉で、若干言葉を変えてるんですけれども、
0:24:34	こういったのは何か意図があつてというか、
0:24:36	きょ、変えた理由というのはどういうことなんでしょうか。
0:24:44	はい。日本原燃の瀬川です。許可のときには確かにセルに導出するユニ ットという言葉です。これ固有名詞として許可の時は使っていたんで すね。
0:24:55	一方で設工認になりますと、この導出するユニットっていうのは、設工 認上の表現でいくと主配管。
0:25:03	というような言葉に置き換わってしまって、その主配管という言葉を使 ってしまうと許可で岩言おうとしていた、雰囲気伝わらないというこ とで一般化した表現として、
0:25:15	系統という言葉は今回ちょっと使わせてもらっていたところでした。以 上です。
0:25:21	はい。

0:25:23	基本的方針としては系統でも違和感はないと思いますので、いいかと思 いますけども、越冬中か何かしておいていただいた方がいいかと。
0:25:34	再日本語の不正ガウスいずれもちょっと許可からの変更点としての理由 がきちんと付記されてないのがここに限らず、ちょっと
0:25:45	見えてますので、今回の修正で加えた青字のところですね、変更理由と いうのを加え、全然書けてませんので、先ほどご指摘で強化本部のこう いった部分の内容をこういうふうに読みかえてるみたいなどの解説 も含めてですね。
0:26:00	記載充実を図りたいと思います。以上です。
0:26:04	はい。よろしくお願いします。
0:26:07	すいませんコサクです。今の点でちょっと聞き逃したのですが、
0:26:14	今ユニットが系統になってといたときのものとしては主配管だけでは か。
0:26:22	はい。日本原燃の瀬川ですユニットでとらえてるのは主配管の部分をも イメージしてました許可の時もですね。はい。
0:26:32	こそです。で、
0:26:35	系統といった場合にわあ、主配管だけじゃなくて中身になる、もうここ で書いてあるところの凝縮器だったりとかっていうのも含まれちゃうよ うな気がするんですけど。
0:26:48	どういう用語定義になって使ってるんですかね。
0:26:54	はい。日本原燃の瀬川さん、今ご指摘されてから、と思っちゃうところ にちょっと、
0:27:01	円筒の朝が見え隠れしちゃうんですが、
0:27:05	ちょっといま1度再整理をさせてください。今ここ、今見ていただい てる場所ってというのは、1章の共通項目のところ、
0:27:16	なんですね、2章の個別項目のところに行きますと、きちんと許可の表 現に伝わるようにということで設工認の名称も使いながらですね許可の 表現に今後表現置き換え定義を定義してこういう表現使っていきますよ っていうのを、
0:27:31	以降の方、2章の方では、工夫してたつもりなんですけれどもちょっと 一緒に対しては配慮が足らなかったかなと思ってますのでちょっと再考 させてください。
0:27:43	はい。補足です。2章、今見てもいいんですけど、

0:27:48	整理をされるということであれば、それでまた聞ければと思います。やはり系統というと、
0:27:57	機器の集合体として機能が最終的に達成される状態の全体像をいうというのが、私の、これまで使ってた。
0:28:08	イメージなので、皆さん当初の中でもそういう趣旨で系統の機能というのは話をされてたんだと思いますから、
0:28:19	そごのないようにしていただければと思います。で、
0:28:23	今の話だけでいうと個別に主配管でもおかしくないなという気もしますし、
0:28:29	また整理した状態で聞ければと思います。以上です。
0:28:36	はい。日本原燃の瀬川承知いたしました。
0:28:43	それでは、規制庁側から他に質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:28:48	はい。規制庁高橋です。ちょっと細かいところではありますが、2、10、
0:28:57	通しの24ページですかね、ちょっと説明はなかったんですが、
0:29:05	青字の注釈のところの
0:29:08	24ページの一番下の吹き出しですね淡路の注釈のところなんですけれどもこれ基礎基準、規則の解釈の30第33条及び
0:29:19	日、36条となってますがこの後の36条はこれ、
0:29:23	基準規則の解釈、
0:29:27	なのかそれともこれ、技術基準の方なのかっていうのを確認したいんですが、ご説明してください。
0:29:35	はい。日本原燃のタマウチです。
0:29:38	すいませんちょっと書き足りなくて36条は技術基準規則の方の36条でした。ちょっとわかるように書かせてください。以上です。
0:29:47	はい。規制庁の蒲池です。他のところもあるかもしれませんがその辺ところを確認して適正化していただくようお願いします。
0:29:56	はい。
0:29:56	で、あわせてちょっと同様な確認で、すいません。どうぞ、コサクですけど、今の場所の話をしたんだけど、先田崎お願いします。
0:30:08	同じような指摘というので先にやった方がいい、よければ、そのあとに話をするけど、どっちがいいですかね。いや、単純な話なわけでも資料ないですから、また同じところでやった方がいいと思います。

0:30:21	はいコサクです。そしたらこれ説明あったようにこの条文での要求の要望として、
0:30:29	危険補修なので。
0:30:31	いうので、前回話したときも私も見ながらそう思っていたので、
0:30:37	それはそれでいいのですけど、さかのぼると許可のときに何で保守点検って書いたんでしたっけというのが、
0:30:47	あって説明あったかもしれませんがもう一度説明していただいていいですか。
0:30:54	これちょっと当時の許可作った時のところまで正確には遡らなければいけないんですが、
0:31:06	推測するにですね、あの当時も、ここの基本設計方針作るにあたって、
0:31:12	すいません、この蒸発乾固ではなくて 36 条のですね、S A 設備の基本設計方針を作るにあたって、どの表現っていうのを参考に、
0:31:23	許可もくみ上げていたはずでして、おそらくその分の許可のときの表現が保守点検になってたんじゃないかなというふうに推測します。
0:31:33	はい。
0:31:35	じゃあ何でその 36 条を受けて過去の蒸発乾固のところそれが点検保守に局が逆転したんだとなるとちょっと、
0:31:42	申し訳ないです
0:31:44	そこはちょっと理由がわかりません。
0:31:49	古作です。
0:31:51	ですね。いや最終的には挙カーに整合って言わなきゃいけないで、単純に内容は変わりません用語の使い方だけなんですっていうことでもいいのかというと、
0:32:09	前回お話したように
0:32:12	基準として、二つの用語を使っているんで、
0:32:17	同じものなんですっていうのも言いづらくてですね。
0:32:25	何らか説明をしてもらいたいなと思ってます。
0:32:30	基準の用語は、多少の意味の違いを含めて表現を変えているけども、
0:32:41	原燃のこの許可でのこの部分については趣旨はこういうことでやって、内容としては、
0:32:47	変わらないと、というようなことを言っていたのかなあというふうに思ってます。先ほど説明があった経緯とかも含めながら、

0:32:57	もう少しわかるように吹き出しを書いていただければと思います。よろしくをお願いします。
0:33:06	はい。日本原燃間瀬が承知いたしました。
0:33:12	はい。
0:33:15	はい。規制庁高橋です。そしたら、
0:33:18	そしたらですね通しの29ページこれも吹き出しの話なんですけど、
0:33:25	一番下の吹き出しですねこの部分、外観点検赤等が指す具体的な内容はこの書きぶりになってるんですが、これ、
0:33:35	外観点検とか、員数確認ってそのが、そもそも何か具体的にってるような気もしてるんですが、ちょっとこの表現ってのがちょっと他と違っていて他とうのが説明の時には、何とかのサービス内容は何とかなので、どこどこに収集しますみたいなそんな書き方になったかと思うんですがここだけちょっとその少し書きぶりが違うんですがこれは、
0:33:55	何か理由がありますでしょうか。
0:34:00	日本原電セガワ少々お待ちください。
0:34:32	日本原燃の瀬川です。ですね。
0:34:38	前回位のヒアリングの場で、水供給の方でも同じ吹き出しの部分があって、乾固と水供給で、記載振りがちょっと違っていたんですね。もともと乾固の方は、この等の解説として、これらの三つのほかに、
0:34:57	具体的な内容を、四つ五つこう並べて、その総称として頭を使いますっていう、宣言にとどまっていた。一方で水供給の方は、
0:35:09	等は、具体的には保安規定と書いてますけどもその下部規定とか手順とかになってきますけれども、そこにきちんと明確化していきますということで語尾がちょっと違っていたんですね。
0:35:22	実際やって食う話としてはこれはきちんとルール手順として定めてやっていくことになるので、語尾はこの水供給の方に合わせなきゃいけないということで、合わせに行ったんですけども、
0:35:35	その際に等の内訳を消しすぎてしまったというのが
0:35:39	質問で申し訳ないです。つい等の内訳というのを柿木勝様にいたします。以上です。はい。
0:35:50	日本ユニシスです。瀬川さんその説明もおかしくて、
0:35:54	これ設計で考えた時に外観点検員数確認、性能確認等が指す具体的な内容は保安規定に基づいて、

0:36:04	言われても、設計としてこういうことが確認できるような構造にしますって説明はしないといけないんですよね。
0:36:13	それは個別の説明書なりの添付書類で展開するんじゃない。
0:36:19	だからその通りですね。はい。
0:36:22	失礼しました。その通りです。
0:36:29	はい。日本原燃の瀬川ですということですいません。イシハラからの指摘を受けてまたコロコロ。
0:36:36	変えてしまうのはあれなんですけど、きちんと等を具体化した上で、それを、は添付書類の方、添付書類のこの試験検査といった部分でしっかり具体化して、そういうことができる構造設計にしていくというふうに綱つなげていくような表現に改めたいと思います。以上です。
0:36:57	はい、規制庁の川瀬適正化していただくようお願いします。
0:37:01	私からは以上です。
0:37:04	規制庁の藤原です。関連してなんですけど、今のところは具体化されるということなんですけど、23ページとか他にも、27ページのところでですかね。
0:37:16	23ページであれば、等の解説D弁等の操作の指す内容は、保安規定で示すため、当該箇所では許可の記載を用いたというふうな形に書かれていて、躯体が示されていないと。
0:37:30	そういったところが結構あってそのページの、もうちょっと下のところの固縛等の話も等の内容分かれず展開していくところはそちらかもしれないんですけども、
0:37:41	ここでも幾つかこういったものがあるんだけど、こちら、保安規定なり添付書類側で明確化するのでここは頭で行きたいんだとか、そういった説明になるのかなと思ってんですけど認識いかがですか。
0:37:57	岩根の瀬川ですそうですね。ちょっと全般的に、この高野貝瀬通の記載というのが本当にこれでいいのかというのはもう一度、
0:38:07	全農らかけたいと思います。まず、具体例が述べられるというのはこれまず必須でございますし、
0:38:14	その先が、先ほどのイシハラの指摘もあったようにですねその差キーに待ち構えてる設計みたいなのがいるのかいないのか、そういったところもちょっと今一度ですね、そういった視点で見て、記載の適正化全体を図っていきたいと思います。以上です。

0:38:30	規制庁の上村西田でございます。若干補足をしますと、
0:38:37	別紙1の役割っていうんすかね。36条でしたかね最初の場合は、重大事故と対設備。
0:38:46	共通的な方針をうたう場合は、おそらくと上で、その運用については終わって定めるし、その時に具体化するし、個別の設計についてはそれぞれの
0:38:58	別紙1条文ごとの個別のメッセージの中で、添付書類外展開していきますよってということだと思います。特に今の20ページに移ってページです、大体関係設備のっていう、主配管は、
0:39:13	で来られると、対象がもう明確でそれに対しては当然添付書類が何の操作があるかっていうのを展開されるべきであって、そこは、それ以外で展開をしますよということだと思いますし、
0:39:24	36条みたいな共通的な方針を示しているところ等については全体を包含して等々するしさらにその具体的なその運用的なものについては桶川で決めていきますみたいな展開があるべきだと思いますので、そこは
0:39:39	シンチの役割だったり位置付け等の関係で整理をしていくというのが第1回の時にやっていたやり方でした。以上です。
0:39:51	規制庁の藤原ですわかりました。衛藤多賀店で整理をしていただきたいと思います。今回39条の部分ですけれども他にも展開される時にはその視点でもって整理をしていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。私からは以上です。
0:40:08	それでは規制庁側から他に質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:40:15	すいません規制庁大橋ですけれども、
0:40:22	記載の検索とかは、今後修正していくって話ではありましたがけれども、主な点は直しましたって話もありましたので、ちょっと確認なんですけれども、
0:40:34	例えば23ページのところでは、弁等の操作という言葉があって、M8ページとかではその弁の手動操作という言葉があってまた48ページの辺りでは弁等の手動操作という、
0:40:49	そういった表現があって前回指摘したときは、弁の主弁等の手動操作、ベントの操作とか、そういった言葉に統一するみたいな話もあったかと思うんですけども、

0:40:59	この辺の整理は、今されているというか、今後していくということによろしいんでしょうか。
0:41:11	はい。日本原燃のタマウチです。おっしゃる通りですねご指摘された内容はもちろん記録して覚えておりまして、今、すいません、ちょっとまだ整理中だったので、そちらは
0:41:23	整理した上、
0:41:24	反映させていただきたいと思っております。あともう1点ですね今、簡便な簡便な接続方式の簡易な接続方式の使い方についても、
0:41:35	横並びを見ながらですね、記載方針を今定めていたところで、こちらも今回のご指摘に合わせて反映してですね、お示ししたいと思っております。はい。以上です。
0:41:47	はい。はい。先生。了解しました。お願いします。
0:41:57	私から以上です。
0:42:00	それでは他に規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:42:06	規制庁コサクです。ちょっと目線を広げてですね、次の資料との関係も、
0:42:13	でもあるんですけど、
0:42:15	もともと本文8号ちゃんと展開できてるのかっていう話が発生したのは、どうも基本設計方針からの展開で話を聞いていると。
0:42:26	視点に漏れがあるんじゃないのかということがあって見ていくと、どうも本文8号が入ってないぞという、
0:42:36	ことになっ
0:42:37	たということだと思うんですけど。
0:42:40	支店に戻る等、今回の作業で抽出はし切れたのかどうか、
0:42:48	その展開の頭の整理ができたのかどうかって言うところになり、次の資料でそれが今回の添8号の対応も含めて入れ込めていて、漏れないというような確認が取れているのかどうかというふうに繋がるような気がするんですけど。
0:43:05	現状どこまで検証なり、検討されてますか。
0:43:14	いらっしゃるやりきったというところは嘘になってしまうと思いますので、まだちょっと継続してしっかり抜け漏れがないかといったところを見ていきたいとは思っておりますまた

0:43:27	許可から持ってくるという観点では4号と8号、それに附属する手順と いったところで、
0:43:39	湯本の部分に対しての着眼点ってのは、もう抜けがないかなというふう に思っておるところですけども、今度基本設計方針に落とし込むとき に、
0:43:50	極端な話を言えば例えば36条の共通方針述べてる内容をですね、
0:43:56	本当は個別方針の方に少しやっぱりこのフレーズはブレークして書か なきゃいけないんじゃないとか、そういったものがあるやなしやとい ったところは、まだちょっと引き続き、
0:44:06	考えなきゃいけないかなというふうに思ったりします。以上です。
0:44:12	古作です。今言われたのは、次のフェーズとしてどこにどれだけ書くか っていう古藤。
0:44:19	理由になると思うので、それは今後やっていけばいいかなと思ってるん ですけど、大きくして漏れがあるといけないなというところだと思うん ですね。
0:44:30	で、
0:44:32	最低限ノーところは許可の本文添付を見られて作業されてるので、
0:44:39	漏れはなくなってきたらと思うんですけど、次の十時10名 なあ、今日出されたものの中は、今の8号の対応。
0:44:52	をしたものは入ってるんですか入ってないんですか。
0:44:58	はい。日本原燃の千葉です。
0:45:01	入っている長言えば入っておりますが記載はすごくサボっています。
0:45:08	はい。
0:45:10	有賀です。状況を伺いました。
0:45:14	大枠としての考えなり、やることみたいなことを今日は話をして、その 上で、これまで話になった本文は、許可の本文8号を踏まえた基本設計 方針と、
0:45:27	いうところも先ほどのコメントでも少し修正が必要な部分もあるという ことですから、そういうのを対応しつつ、具体的に展開していても、最 終的に漏れのないようにしていくと。
0:45:41	いうことで
0:45:44	順々に精度を上げていくということと理解をしました。
0:45:48	はい。以上です。

0:45:54	それでは規制庁側から他に質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:46:03	なければ日本原燃側、蒸発乾固 00 の方の振り返りと今後のスケジュールをお願いいたします。
0:46:16	はい。日本原燃のタマウチですまず振り返りの方させていただきたいと思えます。
0:46:23	沼津観光 00-01 別紙 1 について、グレーハッチングですとか、変更点の書き方、一部ですねまだ正式できていないところございましたのでそこは全体的に直させていただいてですね。
0:46:36	例を挙げていきたいと思えます。言葉の使い方につきましても系統ですとか、定義をしっかりとめをとらまえた上で、
0:46:43	ここの使い方をですね、再度、
0:46:46	見直していきたいと考えております見直します。
0:46:50	はい。あとですね突き出しのですね、等につきましても、今まだもう、36 条要求の方にですね鳥羽笹井の
0:46:59	方針的な話の書き分けですとかあと個別添付に飛ばす際にはですね具体的な等の内訳を書くですとか、書き方がですねサイズ、ないので、そちらをですね充実していきますと。
0:47:12	あとまだ残っているですね、
0:47:14	ご指摘事項のですね、弁等の操作でストッパーとか域内のところ、そういったところを含めまして、精度を上げていくということを実施していきます。はい。
0:47:26	またですね基本設計方針につきましては今後のですね、36 条展開ですとか、
0:47:31	踏まえてですね、ブラッシュアップを図っていくということになります。1 回は以上になります。
0:47:37	日本原燃の堀口です今回いただいたコメントに対する修正をしまして、資金の対応スケジュールで 10 日のところに、
0:47:47	資料を提出するというふうに書いております 10 日穴井氏 13 日に資料を提出しまして 14 日のヒアリングに間に合うように、対応を進めていきたいと考えております。以上です。
0:48:01	ありがとうございました。
0:48:03	先ほど、まとめについて規制庁側から質問ある方ございますでしょうか。

0:48:09	規制庁タカハシですねのため確認なんです、今資料提出 13 か 14 って言ってる、ヒアリングその次の日、重要な多分次が 15 日だっていう、確かスケジュール感だったと思うんですけども、
0:48:20	14 日の場合は早い時間体に出てくるっていうふうに考えてよろしいでしょうか。
0:48:25	阿部さんと藤笥さん、矢嶋齋藤梶谷城提出で 13 日の場合は、ヒアリング前日なんで、資料が早めに出てくると考えてよろしいでしょうかごめんなさい。今違いますよ。
0:48:36	はい。日本原燃の瀬川今野氏、朝ミーティングとかでお示ししてるスケジュールは 10 日。
0:48:43	そんなに大きなコメントはないだろうというの見込んで 10 日に設定したんですけども、ちょっと等々能展開とかですねあそこもう 1 回ちょっと腰据えてしっかりやんなきゃいけないなというところもあって、場合によっては 13 日にずれ込むこともあろうかなと思っております。
0:48:58	14 日のヒアリング、これはずらすつもりはございませんので、今高梨さんがおっしゃられた通りですね翌日すぐっていうわけにはいかないの
0:49:09	で、
0:49:09	後、
0:49:11	明日、
0:49:12	朝、午前中中にはお出しできるように、何とか対応したいと思います。以上です。
0:49:20	はい、規制庁の話は規制庁高梨です。別に無理とかです時間ありきでっていうこと言ってるわけじゃないんで慎重検討の方は慎重にやっていただければと思います。ちなみに
0:49:31	何だ、今もう繰り返す中で最後の方に、要はこれまでのコメント、今回その保有してたその修正とかですねそういったところっていうのも含めて次回が提出ということでいいかどうかそれともそれはその部分はまだ、
0:49:43	置くかってその辺ところをちょっと確認させてください。
0:49:49	日本原燃のタマウチです。これまでいただいているご指摘事項は直して、次回出したいと考えております。以上です。
0:49:59	はい。規制庁高橋です。その他の一番は最初のページにあったなんです、ね少し見直し、記載ぶりか記載ぶりとかそういったところの、

0:50:10	についてはもらっていた部分も含めてということ、理解で記載不備の非 行事項の修正というところも含めてということでしょうか。
0:50:21	はい。日本原燃のタマウチです。はい。それと残ってるところをです ね、も、やれるところまでしっかり対応したいと思います以上です。
0:50:30	はい。規制庁高梨ですよろしく申し上げます。私からは以上です。
0:50:36	他になければ
0:50:39	これで上は加茂0の資料の方は終わりました次の方の11名の方に行こうと 思いますがいかがでしょうか。
0:50:48	何もないようなので日本原燃側、十時1名の方の説明よろしくお願いい たします。
0:50:56	はい。日本原燃のタマウチです。続きまして十時1名のですね電話、5 年3月8日バージョン。
0:51:03	今日は午前中となってしまって申し訳ございませんでした。こちらの資 料です、説明をさせていただきたいと思います。
0:51:10	まず3ページをご覧ください。
0:51:15	はい。
0:51:16	3ページで、下線を聞かせていただいておりますけれども、本資料の趣 旨はですね、1ポツ設計条件及び評価判断基準として押さえておくべき 内容をですね、第36条、
0:51:29	及び第39条、冷却機能の喪失による蒸発乾固、
0:51:33	についてですね、展開する内容のコサクを整理したものということにな ります。
0:51:37	ですので今回ちょっと相関図はですねつけていないのですが、これはで すねこの骨格の整理の後ですね示したいというところで、整理したです ね、骨格の説明をさせていただきたいと思います。
0:51:49	まずですね、ちょっとめくっていただきまして、
0:51:53	61ページをお願いします。
0:51:59	はい。
0:52:00	資料のちょっと作りに解説になってしまうんですけども、今回ですね 表を大きく、第1章と第2表とつけておりまして、第1表が、こちら 61ページの上の青で示したですね36条に関する
0:52:15	重大事項の共通の方針の展開の関係になっております。

0:52:20	第2号に関しましてはですねこのピンクの39条に関する機能要求方針展開。
0:52:26	というところを整理した内容になっております。
0:52:29	レベルの36条の方では、
0:52:32	36条を受けた設計方針をですね展開しつつ、それがですね、他の設計基準条文の評価にどう流れていくのかというところのですね、全体を示した。
0:52:42	内容で、39条に関しましては、39条個別のですね、36条要求から個別に入ってくるものですね。
0:52:49	具体的にどう展開していくかを示したものというふうになっております。
0:52:53	はい。具体的に表を見ていただきたいと思います。
0:52:56	ではですね、
0:53:02	今申し上げた説明はですね5ページのところで、
0:53:06	文章で書いておりました。
0:53:11	はい。具体はですね、6ページ以降となっております、まず第1表の見方から説明させていただきたいと思います。
0:53:20	第1表なんですけれども、
0:53:23	こちらですね、左側に項目この項目のところには多様性地域分散ですとか、36条要求を書かせていただいた上で、次の別にはですね設備、常設なのか可搬なのか、はたまた共通事項なのか。
0:53:36	考慮事故事象というところには自然現象に関する記載なのかですとか、人的事象のFAXとかそういったところをですね書かせていただく。
0:53:46	表のつくりになっております。その次の列がですね、屋外設備なのか屋内設備なのかそれとも共通事項なのか。
0:53:53	という、枠で整理した上で、その重大事故の設計方針としてですね、健全性説明書へどう展開していくのかというのを一つ一つですね、整理していった構造になっております。
0:54:06	7ページをご覧になっていただくと、
0:54:08	黄色いハッチングが出てくると思うんですけれども、この黄色ハッチングがですね、
0:54:14	設計基準事故の方でも、

0:54:16	考慮すべき事項というものをですね黄色ハッチングで示していくという形で整理をさせていただきました。
0:54:27	はい。ですね。
0:54:31	作りで
0:54:35	今日作っておりますというところになります。長々とあるんですけども
0:54:40	そうですね。示したいところは、
0:54:43	以上だと考えておりますが何か補足があれば、第1号についてお願いしたいですが。
0:54:50	現在社内ではありますか、日本原燃の。
0:54:54	江川です。表の見方としては以上でして、まさに今日、ポイントとなるところは黄色でハイライトしたつもりです。
0:55:04	多様性位置的分散という観点でいけばですね今7ページのところで、溢水に対しては1的分散を図った上で、
0:55:16	健全性を確保するんだと、というような方針になっております竜巻も同様ですね、可能な限り多様性位置的分散を図った上で健全性を確保するというようなことで、
0:55:28	多様性位置的分散の方針というのはまず36条の基本設計方針を受けた最初の方針としてこのぐらいの記載であるということです。さらに、先ほど、
0:55:40	これはだから、次の書き分けの話になってくるんでちょっとこの方針の深掘りと、具体的にじゃあどうすんだといったところもう1深掘りが、方針としては記載が必要だろうなというふうに思っておりますけどそこはちょっと欠けておりません。
0:55:55	次、ちょっとざっと紹介をさせていただきますと、
0:56:00	8ページ9ページもですね今度可搬型設備の観点になってきますけれども先ほど常設ですが、可搬についてもですねやはり溢水竜巻等に対してですね、
0:56:12	デービー設備S Aの常設との分散配置だといったようなところが、対応設置位置的分散の基本的な方針でありますし、9ページの屋外ですと、
0:56:23	縦事故が発生する建物から、100メートル以上離れた場所にも保管するんだぞというような、そういう離隔の確保という方針を展開してございます。

0:56:34	あともう一つ特徴的なところでは今後溢水とかの話に繋がってきますけれども、9ページ以降ですね接続等という観点が出て参ります。殊、具体的には10ページになりますけれども、
0:56:46	接続孔はきちんと下溢水といったところを考慮してですね、分散して、建屋内の複数の場所に設ける方針にしましょうということで記載してございます。
0:56:57	はい。
0:56:59	これが多様性位置的分散の主立ったところですね。で、一部12ページに悪影響ということで、竜巻に対して12ページお願いします。
0:57:10	竜巻の場合は、S A設備が飛来物になって悪さする、D B設備に悪さするっていう観点がありますので、しっかり固縛しましょうねというようなところが、
0:57:22	12ページのところに記載しておりますただ実際この固縛の措置というのは、環境条件側の方針としてもまた展開されますので、そこからデービー側に引き渡していきたいなというふうに考えていたところです。
0:57:36	フェーズをめぐっていただまして、
0:57:41	15ページからが環境条件のことをまとめたものが15ページ以降に記載してございます。
0:57:50	はい。17ページを見ていただきますと、
0:57:55	ここにまた黄色ハッチングたくさん出てきますが、地震をちょっとおい、おいといて溢水のところを見ていただきますと、
0:58:05	ここの黄色ハッチングにしてる通りですね、先ほどの多様性位置的分散で可能な限り、位置的分散を図るんだといったところを踏まえつつ、
0:58:15	さらに、溢水によって機能喪失しないような措置を講じましょうという方針をここで展開してございます。
0:58:24	はい。
0:58:27	ええ。
0:58:28	18ページのところの竜巻なんかも同じような趣旨ですね。実際のその環境としての竜巻に対しては、屋内に保管するな、屋内に設置するなどして、きちんと体制を持たせましょうという方針を展開してございます。
0:58:44	このエコこういった部分からですね、評価は右側のところに備考で書いておりますが、これに対する具体的な評価というのは竜巻火山、すいませんこれD Bの竜巻火山ですねそういったところに、

0:58:57	ここからパスを出して展開していくのかなと、そういうふうを考えていたところです。
0:59:02	ざっくりですけども表の見方の補足としては以上となります。
0:59:09	まずこれ第1表ですね、代表の説明としては以上となります。
0:59:16	規制庁側から代表関係で質問ある方いらっしゃいましたらお願いいたします。
0:59:24	はい。規制庁高橋です。今表の見方というのはご説明いただいたんですがちょっと確認ということで、これ1ポツ対応ということでまず骨格の整理ということだと思んですけども、
0:59:37	まずあれですかねこの第1表でのごSA設計方針というところに、まずSAで求められる要求っていうのを一通りまとめ、
0:59:47	だということ。
0:59:49	まとめたということで、先ほど話ありましたけども、DBとか県立安孫子にちゃんと橋ところまで書いてあるけど具体的にどうどの部分をDBに任せるとか、図の要件だと重なってるのかとかそういったところの整理はまだこれからということなんでしょうか。
1:00:06	はい。日本原燃の瀬川です。まず入口の部分までかなと思っておりました。ご指摘の通りですねこの内容をどこまでSA側で深掘りし、
1:00:18	どっから先に、どっから先をデービー側に預けていくのかというのは次のステップでお示しするのかなと思っておりました。以上です。
1:00:29	はい。わかりました。じゃあその点はまた整理した上でということで、ご説明いただければと思います。いただきます。
1:00:43	規制庁の藤原市長、あと一旦説明があったんですけどこの黄色ハッチングの意図って何でしたっけもう1回説明いただけますか。
1:00:54	日本原燃の瀬川です。
1:00:56	1ポチを抑えるという意味では、全部が大事なんですけれども、その中でも設計基準側への初出しが発生するぞという観点の方針が述べられているところを、
1:01:11	黄色ハッチングで表現してございました。ちょっと1点ちょっと黄色ハッチング漏れてるところがあってですね40ページのところで、1.2S sの方針が書かれているんですけども、
1:01:24	40ページですね一番、
1:01:28	どこだったかな。

1:01:33	僕だったっけ。
1:01:43	41 ページですね、41 ページの常設のきょ増設のちょっと設備区分としてちょっといま1度の常設に限らずだな。
1:01:54	すいません。いずれにしても第2カラムというか、2列目ですね。ここで1.2S sの地震を受けた溢水影響、
1:02:04	こういったところに対してもきちんと考えていくぞというようなところを41ページのところで表現していたつもりでございました。以上です。
1:02:15	美瑛町の藤原です。
1:02:17	黄色ハッチングは、今までもいろいろヒアリングの中で確認してきている。
1:02:25	登場人物を明らかにして、溢水なりっていうところになっていかなきゃいけない部分、
1:02:33	なるほど、重要な部分にハッチングをかけたということなんですかね。ちなみになんですけど、DB証券と同じものを、
1:02:44	それ以上にセットして考えなきゃいけないものの整理ってというのは、まだ何でしたっけ先ほどちょっと高梨からの質問とかぶるかもしれないんですけど、そこについてちょっとお返事いただけますか。
1:02:59	はい、日本原燃の瀬川ですすみません今日の表1ではですね、AB条件と同じもの、デービーとはちょっと違ってジャンプアップするものという関係が必ずしもしっかり見えてるかということ、見えてない。
1:03:15	表現としては見えてないのが実情かと思います。
1:03:18	その上のエッセンスは、ヶ所、
1:03:22	ちりばめたつもりなんですけれども、ジャンプアップするのは1.2S sですね、1.2S sを要因としてそれに従属性を持って発生するような事象、それはおのずとジャンプアップするということで、
1:03:35	溢水薬品、
1:03:37	こういったところが、その対象になります。それ以外の外部衝撃、竜巻火山、外部火災、こういったものはジャンプアップがないという整理はしてございますが、
1:03:48	何ていうんでしょうね、今のここの表1に書いてある、
1:03:53	方針の範囲ではですね、そこまでは読めないという状態です。深掘りをしてですね、考慮する現象としては、例えば竜巻であれば竜巻の、

1:04:04	説明書で設定している設計竜巻を考慮して、防護設計やっていきますよというふうなそういう方針の展開は必要かというふうに思っております。以上です。
1:04:20	規制庁の藤原です。
1:04:22	今の状況は、
1:04:25	わかったというか、
1:04:29	何だろう、と。
1:04:30	二つば形とかで整理をいただきましたかったので今回後ろの方についてる。
1:04:37	相関図みたいなものを、一旦ちょっと置いてると思うんですけど、どう整理したかっていうのは多分DBと同じ条件がどれでとかこれは同じ条件であって、プラスでSAとして考えなきゃいけないことがこれっていう。
1:04:50	仕分けが見れたらとてもわかりやすかったのかなと思っています。で、それはこの表1でやろうとしているという理解でいいんですかねそれが、今後されるという理解でいいのか。
1:05:03	すいません表の2との関係がちょっとわかりづらくなってきているので、次の方で聞いた方がいいのかわからないんですけど、表1はどう整理していこうと思っているのかをちょっと聞いていいですか。
1:05:15	はい、概ねのセガワです。
1:05:17	野間基地農協でちょっと骨幹的にや、やってた仕事で、なかなか、
1:05:24	整理がしきれてないところもあるんですが、私の頭の中にあるイメージでいくとですね、先ほど玉置の方から61ページのところ冒頭、
1:05:36	ご説明させていただきましたけれども、61ページでDBへ矢印飛ばします。これ直接いきなりDBに飛ぶ飛ぶわけではなくて、
1:05:46	今の今日表示で示したのは、あくまで青の水色のハッチングの部分の本当に入口の方針だけなんです。これをもう1深掘りした方針っていうのが、次のステップで、
1:05:59	デービーに飛ばす前にいると思ってまして、それを先ほどの表1のところで備考で、見据え飛ばしますよか、竜巻で飛ばしますよという宣言をしているところに対してもう1深掘りどういう方針展開するんだというのが、
1:06:15	表一位の1なのか1-2みたいな形でさらに次加えていくのかなあというイメージを持ってました。以上です。

1:06:26	すいません補足です。何か。
1:06:30	あれですね。
1:06:31	瀬川さんのタマウチさんも長頭良くて、いろいろ頭、
1:06:36	関連性を頭の中で、
1:06:40	思いながら、
1:06:42	それぞれで説明すれば全体的に構成できるというふうに、
1:06:46	思われているようなんですけど、
1:06:50	申し訳ないけど、私なりはそこまで頭は回らなくてですね。
1:06:57	だからこそ骨格示してよと。
1:06:59	ということでお話をしているので、
1:07:02	第1で事足りるんじゃないかと思ってるんですけど、なんでそこでは駄目で、
1:07:08	もう一段必要ですってとかっていう話になるんですかね。
1:07:11	今添付書類の構成の話をしてるんじゃなくて内容の話をしてるだけなんですけど。
1:07:17	はい。日本原電の瀬川氏、すいません。はい。もう何回もこのご指摘をいただいててまだ、もう私の頭の方過ぎてですね。
1:07:28	全然やわらかく対応できてないのが改めてまた認識できましたご指摘の通り、興味のみ黄色で示したところですね、ここの下に粛々と、どう肉付けしていくつもりなのかというのを書き出していけば、
1:07:44	今年の話というのはその通りですので、そういった対応をさせていただければと思います。
1:07:53	はい。コサクです。よろしく申し上げます。で、なので、これでいうと第2も実はそんなにいらないですよ。
1:08:02	と思ってますけど、どうなんですかね。
1:08:04	はい。日本原燃の瀬川ですDBへの引き渡しという視点で見たときには、
1:08:10	第2表というのはですね、あまり必要ないものという認識はあの、コサクさんの認識の通りです。はい。
1:08:18	はい。コサクです。わかりましたそうすると書類の補足説明資料としてどこで何をやるかっていうところはちょっと整理が、

1:08:29	必要というか整理をした上で対応いただければと思うんですが、まず骨格っていう関係だと第1表の中に今第2表にあるようなところで必要なものっていうのを、
1:08:40	入れ込んでいって、
1:08:46	それを備考のところでは
1:08:50	一斉見解だとか何とかってしか書いてないんですけど、
1:08:54	先ほど藤原も言ったように、DBと同じことをやるというものなのか。
1:09:02	DBでは、その視点がないけど、SAとしてのこういう視点について、DB側で合わせてやるということなのかと。
1:09:13	いうことをちゃんと書いていただくということだと思うんです。前回のヒアリングでも申しあげましたけど、アクセスルートなりは、DBではないけど、
1:09:23	溢水評価をしていくという意味では、一体としてやりたいのでDB側の溢水説明書の方に飛ばしますと、そちらで一体としてヒアリングで対応しますと。
1:09:35	ということですというのがわかるようにしていただきたいということだ。
1:09:40	なので、そういうことがわかる備考にしていいただければと思います。ちょっとよろしいですか。
1:09:48	はい。下のセガワで承知いたしました。
1:09:55	スマホです。その上で、
1:09:58	どうしてもやりたがっている、
1:10:03	どこで何を書くんだっていうところの議論っていうと、これまで一生懸命その本ちいを書いてですね相関図ということで書いて、
1:10:14	概念的に話をしましたけど、実態はす。
1:10:20	具体の記載ぶりを話をしていかないと落ち着いていかないということで、それーがやりたいがゆえに、第2号が、
1:10:30	あったんだろうなと思います。それも
1:10:36	具体的に作業する前に、今井第1で話をしたところろうについて、
1:10:46	概念的にどこDを仕分けるのかと、いうことを話をすればよくて、
1:10:53	その時に、基本設計方針のレベル、その次の方し添付書類の方針の部分のレベル。

1:11:01	ええ。
1:11:03	具体を書くところ健全性に移すと、健全性は最初の健全性があった上で、具体の
1:11:11	設系統、
1:11:16	系統ごとの設計でしたっけ、いうところに移すものと、
1:11:21	というようなところで
1:11:23	段階的な扱いを、
1:11:29	第2章のような形で
1:11:32	1段目2段目3回目というところで、どんどんこういうところを具体的にしていきますと。
1:11:39	逆に言うと、このレベルではこれぐらいの丸めにさせてくださいと。
1:11:44	というようなことがわかるようにしていただくと、いうことうかなと思いましたけど、
1:11:52	ちょっと話が飛んじゃって申し訳ないですけど、そういう視点でいうと第2表って逆に荒過ぎて、
1:11:59	健全性説明書にも今言ったようにその前段と、系統ごとがあたりもするし、
1:12:07	具体的にどこでどの程度っていうのにはちょっと枠が少なすぎるような気もしたんですけど、どうなってますかね。
1:12:19	はい。日本原燃の瀬川でございます。そういった視点で先ほどの各条00のところ、
1:12:30	すべてやり切ってるかという質問に対してまだまだ、例えば36条側から個別設備側に、固有名詞としてしっかり展開すべきことがあるのかなのかといったところも踏まえてといったそういったところも、
1:12:43	あってですねちょっと歯抜けになってる節はありますただ、そこは抜けになってる部分は、36条の基本方針共通的な方針で全体もカバーできるので、わざわざ蒸発乾固の設備をわざわざ特出しして、特質的に特徴的な対応として述べることはないので、
1:13:01	書いてないと、瀬川さんと違ってね、この資料に最初私コメントした時みたいに、
1:13:11	基本設計方針で今コサクさんが言われた関係がすでにあるわけですよ。要は9ポツ、9ポツ2の設備の要求、重大事故等大切36条に絡む基本設計方針で、

1:13:25	大枠の方針を言ってそれを受けた形の、各個別の設計の第2章の設計がいて、
1:13:33	同じように多様性とか実績分散とか展開しているわけですよ。その関係を持ったまま、添付に行くんですね。添付でもまた関係があるんですよ。そういうのをちゃんと文字に変えてその関係性っていうのがこういう関係になってますって、
1:13:49	それは環境条件とかの要は健全性理由頭の部分も含めてっていうのをちゃんと示して、抜け漏れなくかつ、書くべきところにちゃんと物が書き書かれてますっていう。
1:14:02	関係性を示そうと思うと基本設計方針とこって、この言葉だけじゃ済まなくて。
1:14:07	ちゃんと展開の仕方ってこうなってるんですけどっていう見せ方になってないんですよ。
1:14:13	言ってる意味わかります。
1:14:15	はい。言っている趣旨はわかっていてちょっとな。内政では、ちょっとこの次のステップの資料の見せ方今回ちょっと素材だけ集めてしまったので、
1:14:26	ちょっといまいちだと思ってるんですけど今石原さんコサクさんがおっしゃられたところを踏まえると、例えばですけど、
1:14:33	一番左っかわに36条の9.2としての基本設計方針が書かれてその隣に、それを蒸発乾固側に展開したときの、
1:14:44	蒸発乾固目線での36条視点での設計方針が、何て言うんでしょう、虫食いの的にこう御あの具体的に展開したところはこういうこういう表現に展開されてますなんていうような対比があり、
1:14:57	さらに、それらの二つの方針を踏まえて、添付書類側で、どこにどういう記載を置くかっていうのは別として、添付書類全体としては、こういったところまで、すいません、補足です。
1:15:11	瀬川さんの、
1:15:14	言いたいことはわかるんですけど、ちょっと今、特に添付2入ったところで丸めて表現されちゃったので、せっかく皆さんが個別設備説明書なのか健全性説明書なのかと、やろうとしてるの。
1:15:29	とガーちょっとずれてきちゃうなっていう気がしたので、
1:15:33	今日の資料の61ページ。

1:15:36	を見ながら話を、
1:15:39	した方がいいかなと思うんですけど。
1:15:44	これで、今津セガワさんが言われたように、まず一番左にはこの9ポツに、基本設計方針の9ポツ2がありますと。
1:15:52	で、その横2、下側の第2章に書いているところの対応関係を踏まえながら、ちょっと2ポツには、
1:16:04	部分的にしかはまらないということだと思いますけど、7ポツのところはそれぞれの受ける項目がありましてと。
1:16:11	ということで並べると。
1:16:13	ということで、添付書類はというと添付書類は9ポツ2との関係での並び、健全性説明書の前段部分と、
1:16:23	記載がありますと。
1:16:26	で、それを受けて、或いは個別項目の記載を受けて、
1:16:35	9ポツだか8ポツだかわかりませんが、添付の中でも、系統ごとというのがあるので、それで受けてるやつがありましてと。
1:16:44	ということで大枠4段構成になると、いうふうに思ってます。さらに、それを受けてみたいところが後ろにつくということになると思うんですけど、
1:16:56	そういつつ、
1:16:58	足りてなかったのが基本設計方針の方の4ポツ3。
1:17:03	がありますと。
1:17:05	いのでえー、これも何らか触れなきゃいけないのかどうかっていうのはどうでしょう。
1:17:14	i P h o n e N - Sそれも触れなければいけないと思ってます。
1:17:20	あと同じその4段協とかの中でどう表現落とし込むかってのは悩ましいですけども触れなきゃいけないものです。
1:17:29	はい。そうなんすよね悩ましくて、ないと何話してんだかわかんないっていうな感じはあるんですけど。奈良。
1:17:40	横並びで書けるようなものでもないかなっていう気もするので、
1:17:45	一番左の欄に9ポツ2と合わせて書いておいて、時々エッセンスがば小場所で必要になれば、再掲で呼び込んだりとかってしながら対応するのかなとちょっと。
1:17:59	具体イメージついてないので申しわけないんですけど、そんなところで、

1:18:05	作りながら考えてもらえればなあと。
1:18:08	思います。で、そういうのを作ってみると、一旦今回の第1票で話をしたところでエッセンスっていうのが、骨格として何を、話をしなきゃいけないのかという認識共有をした上で、
1:18:24	具体的にどこまで書けばいいかと。
1:18:27	いうところを、またよ、横に並べてみていくと、現状の基本設計方針で記載が足りてるのか、もうちょっと含めなきゃいけないのかと。
1:18:37	いうことで
1:18:39	どの、どの範囲についてどこで書けばいいのかどこでDBに振るのかと。
1:18:44	というようなことがわかってくると。
1:18:47	ということかと思しますので、
1:18:51	もし今の体系で書くのであれば第2はそういう形にさせていただいた方がいいかなというふうに思います。
1:19:01	イメージは大丈夫ですか。
1:19:04	はい、大嶺のセガワです。はい。イメージがあって、大分、
1:19:09	クリアになってきましたので、何とか対応できると思います。
1:19:18	はい。補足です。で、その上で話を戻すと、第1票取って、
1:19:24	これで書き足りているのかどうかがいまいちよくわからないんですけど。
1:19:30	最初に共通というのが書いてあって、
1:19:35	その上
1:19:38	共通というか、あれだな。
1:19:42	ちょっとすみません、戻りますね。
1:19:50	そうですね第1、6ページからあって、共通共通屋内外共通って書いてたり常設共通云々と書いてあると。
1:20:01	いうところがあった上で次のページからは事象に分かれていくと。
1:20:08	ということなんですけど、
1:20:15	常設可搬で分け受賞ではK屋内がいるわけと。
1:20:21	いうのは、許可の時にそれぞれどういう設計の、
1:20:28	考慮事項があるのかというときに、整理をした体系なので、
1:20:35	これ自体はいいんですけど、

1:20:39	こうした方がそのポイントが明確になるということだと思いますけど。
1:20:44	最初の共通っていったところ等、その次に書いてるところがちゃんと繋がってるのかっていうところがよくわからなくて、
1:20:54	その点をちょっと6ページのあたりで説明いただけたんですけど、よろしいでしょうか。
1:21:12	はい、片言のセガワです。
1:21:15	とですね、
1:21:19	36条の基本設計関心の立て付けが、共通と書きながら一般論というか、一般論をまず述べた上で、常設に対しての可用性指摘分散はどうだ。
1:21:33	変え可搬に対しての多様性位置的分散はどうするんだと、というようなそういう三段論法で、設計方針が展開されているのが36条になってます。
1:21:44	で、
1:21:46	まずそうなっていですね。
1:21:49	共通から常設に行った時、
1:21:54	そうですね
1:21:56	今ちょっとかこれ説明になってるかという解説にしかないような気もするんですけど、6ページの今の一番上の共通で述べてるのは、
1:22:06	多様性位置的分散というのを考慮するときに、どういった共通要因を考慮するんだというのが解説されてるのが共通の部分。
1:22:15	ですね、自然現象見ましようねとかそういったところを、共通要因として見た上で対応し、市未分散図っていくんだぞといったところが、共通で述べられていて、
1:22:26	その下の、常設じゃそれを踏まえて常設設備は具体的にどうやって、どういう、
1:22:34	皆さん配置とかやっていくつもりなのと。
1:22:36	というようなところを述べてるのが次の段落、
1:22:42	解説にしかなくてないんですね。
1:22:44	コサクです。すいません
1:22:46	そういうのがわかるように書けばいいかなと思っ

1:22:50	ていてですね、単に共通だから、もう見なくていいですっていうふうになっちゃってるんですけど、本当かというので最初の行で共通共通ってなってるやつは、
1:23:02	次の常設共通としたの、可搬共通と、
1:23:08	誘惑D全部ちゃんと受け切れてますかと。
1:23:14	いこの確認をして何か受けているのであれば、
1:23:19	そちらで展開をするのでここで備考なりなんなり詳述する必要はありませんで終わると。
1:23:28	いことだと思っんですね。で、モシイ受けきれてないここで終わっているっていことだとすると、この部分はこの部分でこれを宣言をし切っているんで、これについてどう考えるかということのを備考で書いていただくと。
1:23:43	いことかと思っんですけど、いいですかね。
1:23:48	はい。本年のセガワですリクエストされてるところを理解しますか。ちょっと工夫いたします。
1:23:56	はい。補足です。そうすると潰し込んでいくみたいところが、明確になるかなと思います。その次は常設共通のところになって、これも共通なので、
1:24:09	ここで書かれているものっていうのは次のページのこういう事故考慮事象ごとに展開されていて漏れはありませんと。
1:24:18	いことになるのかなと思っんですけど。
1:24:24	一方で言葉自体はちゃんと受けきれてなくて、
1:24:30	腕ユースの多様性独立性位置的分散を考慮して云々という用語は、
1:24:36	後には、
1:24:38	見えない部分があるわけですよ。
1:24:41	ていのは見えないけども、内容としてはこの内容は、これを対応していれば、すべて
1:24:52	多様性位置的分散の要求事項というものは満足するのでこれで十分ですと。
1:24:57	いこと。
1:24:59	なんだろうなと思っんですけど、そういったところを明確にしていたいで、

1:25:05	受けて、受け切れてるのかどうかという話をさせていただいていいですか。
1:25:14	はい、日本への違いますちょっと表現は工夫していこうと思ってます今ちょっと書いていたのは、6ページのその常設共通の部分ですね。
1:25:25	可能な限り対応し散的分散を図りますというのはもうこれ共通的に当たり前のようにやりなさいと。
1:25:32	いうことを常設共通でうたった上でですね、その下の事象考慮事象は7ページ以降ですけれども例証具体的に出てくるところについては、それぞれの事象の観点で特筆して何かやらなきゃいけないことを追加でやらなきゃいけないこと、そういったところを、
1:25:52	すいませんコサクです。瀬川さん、特出する追加でだと。
1:25:58	具体を展開しているということではなくて、プラスになっちゃうから、元のやつも対応しなきゃいけないになっちゃうんですよ。
1:26:07	失礼しましたけどそうじゃないですよ。具体、具体の展開ですね失礼しました。おっしゃる通りです。はい。コサクです。そういったところを明確にしてもらえればいいということなんです。一応許可で話をしてそういう構成で書いている。
1:26:21	はずなので、それが見えるように、当初整理しといてくださいねっていうだけなんですけど。
1:26:28	それが、またちょっとややこしいのは、
1:26:34	事象っていう話と温度圧力湿度放射線荷重ということは、これ軸が違う話なので、
1:26:46	並べて書くものでもないわけですよ。
1:26:52	それが多分今書ききれない感じがしているんです。
1:27:00	というのは
1:27:02	多分方針の方で全部に共通するから書いていて、個別の事象ごとには書いてませんっていうことだと思うので、そういったところはちゃんと備考で書いて、
1:27:13	対応の考え方っていうのを示すということ。
1:27:18	なんだと思うんですね。一方で、
1:27:22	設計方針のところを今後、
1:27:25	第2表とかも含めながら拡充しようねとなると、それで、ここに書いていきますっていうことになるかもしれない、

1:27:33	どういふうにやっていくかによって、この欄を、
1:27:36	共通のところの備考で処置するのか、ここに対応していくのかと。
1:27:43	いう古藤のやりながらその必要性を踏まえて対応いただければと思うんですけど、そういうのがポイントかなと思います。
1:27:55	はい、承知いたしました。
1:28:01	はい。補足でして、それで何か順番逆になっちゃいましたけど、
1:28:09	7ページっていただいてですね、書いてる内容なんですけど、地震津波火災については、DBの方針、
1:28:20	で対応します。説明書に書いてあります、書いてあるように対応しますというふうに飛ばしているということなんですけど。
1:28:29	これ、どこに書いてある文言持ってきました。
1:28:37	はい。日本原燃のどこに書いた、これ、資料自体はどっから引用したんだってことですね申し訳ございません県今健全性説明書の
1:28:50	まさに36条を受ける添付書類健全性説明書にあったということで、まずそこ、そこをベースにちょっと作ったというのが実態でございました。
1:29:00	ですのでまずこの表を作るっていう観点でいった場合には、この
1:29:06	どこぞに基づくとかっていうのは、本当はもうちょっと一般化したような表現にならなきゃいけないのかもしれないかもしれません。
1:29:14	はい。それがその基本設計方針をもとに書くのか添付書類を基にして書くのかというところの大きな違いだと思うんですね。
1:29:27	先ほどの話ワー基本設計方針をベースにしつつ、添付のや内容もプラスしていくというイメージだ。
1:29:36	なんですけど、
1:29:38	そこが若干ずれているので悩ましいなと思いつつ、
1:29:45	少し
1:29:47	整理をして、頭の整理をして、どうしていくかというのを考えていただければと思います。で、
1:29:57	いずれにしてもここで話をしたかったのは、
1:30:01	行ってるものがDBとの関係でどうなのかということを最終的に、
1:30:07	はっきりさせたいということなので、最初の欄はDBと一緒に範囲ですということで、地震については、地震についてはプラスアルファはあるけどここから出てくるものではなくて、

1:30:24	等、
1:30:29	一番最初の前のページに戻ると。
1:30:34	10、
1:30:35	一番最初の行で重大事故等対処設備、
1:30:43	と書かれ
1:30:46	そのあとの設計において想定した規模よりも大きい希望の要因となる事象を考慮すると。
1:30:53	いう部分。
1:30:56	に該当するわけで、
1:31:01	その状況がこのあたりで見えてくればいいのかと思ったんですけど。
1:31:08	この常設。
1:31:11	ではその欄がないと。
1:31:15	いうことで可搬になると。
1:31:19	8ページの下から5段目、上から3段目に定め4段目ですかね。
1:31:24	のところに事業指定を受けた設計基準より厳しい条件の要因となるかい。
1:31:30	的事象のうち地震と、
1:31:32	出てくると。
1:31:33	いうことなんですけど、これ、
1:31:37	は常設と可搬って何でこう違うんですたっけ。
1:31:41	日本原燃の瀬川です。すいません。これは、
1:31:46	抽出漏れの可能性が高いです。申し訳ございません。
1:31:53	はい。補足です。ちょっと読み込んでるわけじゃないんで、
1:31:58	あれですけどそういったところで、もし
1:32:02	少雨なんていうんすかね。
1:32:04	空襲後になるので書いてないみたいなのがあるんだとしても、ここでは
1:32:10	ちゃんと網羅的に書き、方針として抜けて、抜けてるといふか書いてないところがあれば、それはこういう理由ですよみたいなことを、欄を設けて書いていただくことで説明しきるっていうことになるのかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:32:28	はい。5方面のセガワ承知いたしました。
1:32:34	はい、そうです。で、そういったところで表構成しここの内記載内容を、

1:32:42	整理をしていくと。
1:32:44	いうことで
1:32:47	設計方針の骨格っていうのを、
1:32:50	きっちりとDBとの関係も含めて整理をしていただければと思いますけど。
1:32:56	ここまでで、規制庁側からもう少し具体話したいことがあれば言っていただけますか。
1:33:05	規制庁の田尻です。今後多分、先ほどからの議論の中で示していただけると認識してたんですけど、7ページのところでなんですけど、
1:33:15	上から二つ目のところで一斉化学薬品の漏えいの話があってで、ここでSAの条件なんで、静的機器の全周破断のはなCがあるのはわかりつつなんですけど、ここっていうのはDBにどのように飛ばそうとしてるのかなんですけど、1水源
1:33:30	をふやして飛ばしてくるのか、何を飛ばそうとしてきてるかのイメージだけ確認できると助かるんですけど。
1:33:40	はい。日本原燃の瀬川でございます。
1:33:43	まずこの全周破断は、溢水で言えば想定破損に相当するものになりますランダム要因で発生するもの、実態として、常設衛星設備に対しては、職制規定に対しては、材質で、
1:34:01	機能喪失しない設計とするっていうのを、この後展開しようと思っておりますので、デービー側にその観点で、飛ばすという発想はない。
1:34:10	整理としてました。あと可搬も同じようなところ出てくるんですけども、過半は、配管の全周破断ってのが腐食性期待放射性物質を含む腐食性の行きたいってことでセル内の配管破断のことを指してまして。
1:34:25	可搬型設備はセル内には、保管したりしませんので、それも影響のない場所に保管するっていう方針でもってPLOHSさせることを考えてましたDB側へ飛ばすことは考えてませんでした。以上です。
1:34:40	はい。規制庁の田尻です。あくまで正としての設計方針は落としてるだけで飛ばす内容じゃないってことで理解します先ほどからの議論で飛ばすものがどれかというのをはっきりしてくるんだと思うんで、そこでまた確認したいと思います。自分からは以上です。
1:34:54	すいませんコサクです。今の点で、私が質問するのも恥ずかしいんですけど、

1:35:00	瀬川さんの今言われたのって、
1:35:03	全周破断、2、何に対して全周破断を想定し、何を守る、
1:35:10	なり、何の機能喪失を考えて対応するということを言われたのがちょっとわからなくなっちゃったので、もう一度説明いただいていいですか。
1:35:21	はい。日本原燃の瀬川でございます。
1:35:25	ですね、午前中、全市集合言わなかったからぐちゃぐちゃなっちゃったね。多分DBとSAで想定破損ないでやること変わらないですよ。水源は、
1:35:41	まず、
1:35:42	考えなきゃいけないのは防護対象がSAになりますってだけです。ね。
1:35:48	だからSAが引き起こさなきゃいけないんで防護対象の区画に防護対象そのものが置かれてる場所と、何を一斉から守るかっていう、こいつが守らなきゃいけないものですっていう情報だけが、
1:36:00	成果が出てきて、やることは、DBと何も変わらないから、DBにその情報だけ預けてDB側で評価をしますよってことなんじゃなかったでしたっけ。
1:36:11	はい。コサクです私はそう思って、先ほどの説明が何か、SA設備は全周破断しないように云々対応するから大丈夫ですみたいなことを、
1:36:21	言われたような感じがしたのであれな、何の話だっけっていうふうになっちゃったんですよ、私が聞き間違えただけかなとは思んですけど。
1:36:32	はい。日本原燃の瀬川です。ちょっと私も今ちょっとこんな混乱してます。はい。
1:36:40	そうですね。ベビーとイコールの部分があるはずなんですけど。
1:36:46	一方でデービーは何でしょう、内部流体の、
1:36:50	圧力とかをちゃんと見てですね、想定破損が起こるか来ないかっていう、強度評価のスクリーニング入ってるのに対して、一方で、SAは問答無用で割るってというようなそういう前提もあって、
1:37:04	ちょっとその関係性が整理できてないのが如実にかっただけでちょっとしっかり整理いたしますすいません。
1:37:12	日本原燃石原でございます。多分江川さんと話をして頭の整理をしましょうかね。ここで言ってる重大事故大切には、いろんな考える環境条件から守りますってというのは

1:37:26	重大事故が起こっているというよりも、通常時からそういうことに対してケアをしますよと、機能喪失させないようにしますよって言うから、
1:37:34	防護対象だけを示してSDに預ければ同じことをやるだけですっていう話だと思ってますので、そういうところも含めて、何に対してどういう状況下で、この要求を課せられているのかっていうのをちゃんと整理をして、
1:37:48	日本語が展開できればと思ってます。
1:37:52	はい、古作です。被害者加害者を明確にさせていただくとすごいクリアになるかなと思いますので、よろしくお願いします。後の悪影響防止とかも含めるとそれが入れ替わったりということがあったりするので、
1:38:08	より一層今何の話してるんでしたっけということがわかるようにと。
1:38:13	ということです。特にここの部分は、健全性確保の要員っていうだけじゃなくてももとの機能を求められるところの状態っていう、
1:38:26	古藤にもなるので、もう一つ、思考回路があってどういう機能を達成しなきゃいけないからそれに、
1:38:35	対して健全性っていうところなので、
1:38:42	し、
1:38:43	そのあたり、
1:38:44	被害者加害者が明確になれば見えるかなと思いつつ、どっかで履き違えると変なふうになっていきそうな気がするのでよろしくお願いします。
1:38:57	はい。所長、須川です。承知いたしました。
1:39:06	あと若干すいません追加で、日本医者でございます先ほど来話があった、DB。
1:39:13	との関係というのもあれですけどもともと基本設計方針で、どういうたてつけにしているかっていうのをちゃんと整理をしてここに書けばですね、SA同条文要求があるものとして展開をしなければいけない設計等、
1:39:29	単純にもうDBと同じかつDB側でもSAのことを考えて条文が立っているんで、そちら側で説明をしますよみたいな住み分けもちゃんとできると思っていますので、そういうところも、
1:39:41	明確になるようにさせていただきます。それをすると、
1:39:45	SAとして設計をある程度語らなきゃいけないものが何かっていうところが明確になってきてかつ何を語るどこで語るのかということも整理が

	できると思いますのでそういうところをケアして、整理ができればと思ってました。以上です。
1:40:03	はい、古作ですよろしくお願いします。
1:40:10	その他規制庁から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
1:40:20	ないようでしたら、これ、十時 17。
1:40:26	はい。はい。
1:40:28	なんで、従事中なの。
1:40:31	振り返りと今後のスケジュール、原画よろしくお願いします。
1:40:46	はい。日本原燃タマウチです。まず振り返りですね。
1:40:50	例会なんですけれども、こちらの全体骨格の整理ということで、まず基本設計方針、
1:40:58	2 各レベル間のもので添付書類に書くレベル感のものというものをですね、並べて、
1:41:04	記載する。
1:41:05	骨子を固めた上でですね、今回第 1 章に示したような、各設備高齢者過程を踏まえない事ですね。
1:41:15	骨格で記載すべき事項というものをしっかり書いていって、その中から他に DB にですね展開すべき事項ですとか
1:41:24	DB と同じ条件で評価をする、すべき事項というものをですね、まとめていって、
1:41:31	まず整理すると。
1:41:32	骨格を整理することになります。その際に、36 条展開要求のですね展開漏れがないようにですね、全体的に要求事項、
1:41:44	例えばどうかっていうところもですね見えるようにして、もし
1:41:49	来た対応がないところについてはその理由を書くというような形で全体まとめさせていただきたいと思います。
1:41:56	はい、以上になります。スケジュールですね。はい。はい。スケジュールなんですけれども
1:42:03	先ほど別紙 C-1 とおなじ。
1:42:06	おなじ言い方になってしまって申し訳ないんですけども今 13 日に、今回の資料の改定が、コメント幅を出す予定ですこの 13 日が 13 日か 14 日日、

1:42:21	来週の月間と、コメントはいバーを作成提出させていただいて、それ15日のヒアリングに今、
1:42:37	日本原燃の人があるんですけども、スケジュールなんですけど、朝ミーティングとかでお示ししてるのは、13日にお出しするということで15日に、次のヒアリングといったところ、
1:42:50	目論んでおりますが、
1:42:53	今、今日のヒアリングでやらなきゃいけないこと、まとめ方の方向性というのがすごくクリアになりつつあるんですが、クリアになっただけにですね。
1:43:04	なかなかちょっとは大変だなんていう思いも一方であってですね。
1:43:10	100点のものは多分無理。いずれにしろ、いつも100点は無理なので、あれですけども、目1回ちょっと中30ん。
1:43:20	13、13、14 辺りをですね目標に、やり切れるところもやり切ったもので、1回また提出させていただければなと思います。以上です。
1:43:36	ありがとうございました。それでは今のスケジュール等について、清町側から質問ある方いらっしゃいますか。
1:43:43	はい規制庁タカハシです確認ですけどもひとまず今日の不況を踏まえて一通りやり切るということですので、儘田浅香よりちょっと進捗とかを確認させていただきながら、調整すればというふうに思いますのでよろしくお願いたします。
1:44:00	コサクですすみませんやり切るって話でしたけど、
1:44:04	あれ、今回冷却機能喪失の話でやってますけど、今言われたのってその範疇において何でしたっけ。
1:44:14	本原燃の堀内ですはい。あまり、まずは、蒸発乾固をしっかり固めない、中途半端なものを物量を多くしてもしようがないのでしっかりと、まず蒸発乾固で、
1:44:26	固めなければと考えております。以上です。
1:44:30	えっとコサクです。で、先ほど少し和田伊井にはなりましたけど、
1:44:36	今日本当は溢水関係を入れたものでと言っていたのができませんということで話があったんですけどそのあたりはどうなんでしょうか。
1:44:48	はい、日本原電の瀬川です溢水の話ですね、結局、今日のやりとりで黄色でハッチングしてた部分をさらに同じ空の中で深掘りしてく。
1:45:00	対応がこの後やることになりますので、

1:45:04	今日やりたかった溢水への発出しみたいなところもですね、その 1034 あたりの再提出のところで、
1:45:13	雰囲気見えるようにはなると思ってます。
1:45:15	はい。以上です。
1:45:18	はい。
1:45:20	そこです。
1:45:23	骨格をどこまで膨らませられるかっていうところにはなると思うんですけど、
1:45:31	後からポロポロポロポロ出てきてもよくないなあということがあってですね、冷却機能喪失だけというのではなくて、
1:45:41	早めに点、
1:45:43	早めに展開というのは並行してやれという意味でもないんですけど、
1:45:47	スケジュール感として、その次が何、どうなるのかというのも話をしていたらなと思うんですけど、とりあえず、
1:45:58	朝ミーティングで話をしている名前なんでしたっけ。
1:46:04	当面のスケジュールでしたっけ。
1:46:06	の辺りでまた状況をお聞かせいただければと思います。
1:46:15	欧米のホリグチですはいわかりました。
1:46:22	それではほかにいつきスケジュールと振替について質問ある方は規制庁がいらっしゃいますでしょうか。
1:46:29	すいません規制庁大橋です。ちょっと今の質問とかぶるような気はしつつちょっと
1:46:37	考えがあれば説明いただきたいんですけども。
1:46:42	観光以外の水素プール放出抑制水供給通信、こちらに関してはその共通 00-別紙 1 がどっか出てくるというようなスケジュールも以前ありましたけれども、
1:46:56	観光に関しては 13 日は午前中、早い打ち出したいという話だったんですけど、
1:47:02	この辺の他の数精査とかプールとか交通抑制とかのスケジュールは今どうなってる。
1:47:10	はい。日本原燃の堀口諏訪の観光で今回固めるっていったものを展開するので医師菅鹿野、プール、

1:47:18	放出抑制も観光と一緒に脱せ出すように対応をしたいとは考えておりません。なので
1:47:27	バラバラに出すってことはしないつもりで、医師この6条文、過去含めて6条文は同じ日に出せるように今動きたいと考えております。以上です。
1:47:39	はい、わかりました。十時17の清掃とかプールとかも同様ということですかね勧告と同様に出すということですか。
1:47:49	日本原燃の堀口佐野、次回のところで今、
1:47:55	そうっすねこれはちょっと、
1:47:58	ずらしたいなとか、十時17に関してはまず蒸発乾固でしっかりと、
1:48:03	認識合わせをしてからそれを推測量子を不正とかに展開すべきかな、始めておりました。
1:48:11	日本原燃石田でございます。堀口さん、瀬川さん。
1:48:17	マンパワーとか自分たちのやりやりくりで、難しいというのは理解をしながらもう、
1:48:23	主要の所事故条文等支援系のリンクやりとりとか、飛ばした時に支援系のところでどういうことを書いて、
1:48:34	さらに展開する先はどう変えてとかですね。
1:48:38	別室でも固めなきゃいけないことがそれぞれあるはずで、やんなきゃいけないこと全部中な並べてみた上で、どの資料でどれを片付けていくんだっていうのをちゃんと整理をした上で、
1:48:50	優先順位が決められてますかっていうのが端的に皆さん心配なんじゃないかなと。
1:48:55	結局、一つのゴールをかけるのはいいんですけど、追っかけなきゃいけないボールを全部後ろに飛ばして、1個だけをかけて結局またそれをシーケンスでやっていきますって言って時間がかかるだけじゃないですか。
1:49:08	全部のボール並べてどういうリンクがあってそれぞれ片付けなきゃいけないことをどういう優先順位で並行してやるのかみたいな話をちゃんとできないと、結局、全部がシーケンスのスケジュールになっちゃいますよ。
1:49:25	はい、本件は、ホリグチイシハラのおっしゃる通りですねちょっとスケジュールは、ちょっと再考させてください。

1:49:33	はい、わかりコサクですけど、すみませんまず、009条00-別紙1という関係では、
1:49:44	細かな
1:49:46	生産、
1:49:47	は赤木委員。
1:49:49	順次やっていきますという話だったので、順次やればよいと思いつつも、少なくとも8号の取り込みをしっかりとって、
1:49:58	今話をした骨格というのを、網羅的に押さえていくという活動はやらなきゃいけないわけですね。なのでそこはその先土橋、
1:50:09	にしていけないものなんですよ。
1:50:13	なんでそこはまずやって、少し精査が必要です。冷却機能喪失でも精査が必要でも、次の段階でというものは、じゃあいつぐらいにやりますかと。
1:50:24	いうこと2段構成で整理をすればいいのであって、ビジョンを至近の対応スケジュールの方で見せてもらえればいいんじゃないかなと。
1:50:35	いうふうに思います。
1:50:37	で、それで抽出して、
1:50:40	ようやく骨格というところが固まるんですけど、それを待っててもいけないだろうから、今日話をしたところでの作業っていうのは、
1:50:52	並行してやっていただいて、
1:50:54	どういことをやる必要がありますねという認識共有を改めて次の、
1:51:01	段階
1:51:03	来週資料、
1:51:05	前半で資料提出で、15日ヒアリングというところでDBとの関係も含めて、大枠認識合わせると、
1:51:15	その上で精査したやつが合流していった最終固めをしていくということかなと思いますので
1:51:24	最低限その前条をなめるという対応はしていただきたいなと思って先ほど私もコメントしたというところです。
1:51:38	音源のホリグチですはい、わかりました。
1:51:42	認識しました。
1:51:44	はい。

1:51:45	はい。補足です。で、今、少し言ったように資金の対応スケジュールもですね、
1:51:51	00 別紙 1 というものと、骨格というものと関係性というもので、分類されて、それぞれ
1:52:02	順次やっていきますということではもともと書いてあったはずで、
1:52:06	そこを改めて整理して、
1:52:10	時期を見計らっていただいたらいいかなと思います。その上でその関連性や関係性かな、
1:52:17	なんですけど、或いは相関図なんですけど、先ほど言ったようにあんまり意味がない状況にもなっているので、
1:52:25	その部分は先ほど今回の資料だったら第 2 表の主
1:52:30	大幅な書き換えみたいな話をしましたけど、
1:52:34	それはその骨格が話があってから順次やっていけばいいというような気もするんですけど、その辺りどう進めるつもりか何かあれば教えていただけますか。
1:52:52	日本原燃の堀口です第 2 表の関係が終わってから、相関の方、
1:53:00	エースあ、ごめんなさいコサクベース、ごめんなさい相関いらないと思ってて第 2 表の更新があればもうそこで話ができちゃうんじゃないのって思ってるんですけど。
1:53:12	そうですね、相田医療代表ってなってそれで代表から、どんなふうになってるかは第二課の中で見えてくると思うので。はい。岡さんちょっと。
1:53:21	し資金の対応スケジュールの方も、はい直していきますと一緒に合流できるところってというのは、今日の話でも見えたのはい。わかりました。
1:53:32	はい。補足ですよろしくお願いしますで、第 2 表のり、改めて作り直した番のヒアリングにおいては、
1:53:42	最初はそのままでいいんですけど、
1:53:45	議論してこうしていきましょうっていう話をするときには、相関図というよりは
1:53:52	所掌範囲を、それぞれの部分どうしますっていう考え方を示していただいた方がいいかなと。
1:53:58	思っ

1:53:59	てますので、この十時 17 でやるんだとしたら、前の方に文章説明書きが書いてあってというところがありますので、その辺りで整理していただいたらいいんじゃないかなというふうに思ってます。
1:54:24	所長は、日本へのセガワです
1:54:28	確認というか、所掌範囲のちょっと意図してるところの確認なんですけれども、
1:54:34	表 2、第 2 のところを、今日のやりとりを踏まえて拡充していくんですけども、その中で、縦縦方向にこういろいろ情報がドーンとこう展開されていく中の、ここの部分は、
1:54:50	の書類に預けるのが最適だ、ここの部分は、設計基準から先に預けた方がいいんだみたいなそういったところの考え方。
1:55:00	を、冒頭に書けばいいよねという、
1:55:04	ご出身でしたか。はい。コサクですけど。
1:55:07	えっと言ってることは変わらないような気がするんですけど、縦方向じゃなくて横方向ですね。
1:55:14	一番左は基本設計方針共通で次が、右に来て、個別の設計方針で、その次添付書類の、
1:55:25	健全性説明書の骨格
1:55:28	をして、
1:55:29	共通の方針ですかね。
1:55:33	健全性説明書の個別
1:55:36	で個別設備、
1:55:40	D B 数の説明書、
1:55:42	いうふうに並べていくわけですよ。
1:55:48	はい。その通りです。
1:55:49	コサクですけど。そうすると、どの内容を横軸濃度の列に書くか。
1:55:57	これはここ、ここはここで 0 こここの程度で丸めて、次の右側の方でこの程度書きますと、
1:56:05	というようなことを言いたくなるはずで、それを各業ごとに好き勝手言われちゃ困るので、
1:56:14	縦方向での共通性というのを、
1:56:18	取るために、
1:56:20	その横、各列ごとの考え方或いは列と列の間の考え方と、

1:56:27	いうことを、
1:56:29	本文側で書いてくださいと。
1:56:31	ということです。
1:56:34	はい。瀬川です。理解しました。
1:56:45	他、規制庁側から何かありますでしょうか。
1:56:52	なければ最後に、規制庁側からもし連絡事項あるなら、お願いいたします。
1:56:59	ないようですので、原燃が連絡事項等ありますでしょうか。
1:57:07	はい。日本原燃ですけれども特にございませぬ。ありがとうございます。はい。
1:57:12	それではこれでヒアリングは終わりたいと思います。お疲れ様でした。この後許可の記載誤りの面談が入ってるんですがちょっと、
1:57:21	時間も、
1:57:23	うんと続けているのは 16 時 10 分から開始しようと思いたしますがいかがでしょうか。
1:57:30	はい。日本原燃事務局です。16 時 10 分スタートということで、了解いたしました。よろしくお願ひします。よろしくお願ひします。
1:57:38	それでは 6 ページ。